

AKIBA HOLDINGS

2023年3月期

第1四半期決算説明資料

2022年8月10日



1. トピックス・概況
2. 2023年3月期第1四半期決算
3. 2023年3月期業績予想
4. セグメント別概況

5. 参考資料

AKIBAホールディングスグループ 会社説明

※資料中の数字の単位は、別途指定ない限りすべて百万円

01

トピックス・概況



引き続き収益の獲得基盤を強化

第1四半期として 過去最高益

各段階利益において、第1四半期として過去最高益を達成いたしました。

第2四半期業績予想を 上方修正

前年度第4四半期に続き、本第1四半期において各段階利益の積み上げが順調に進行したため、第2四半期累計期間における業績予想については、PC特需の落ち着きと部材入手難に起因し売上高については減収と見込んだものの、各段階利益において見直し、上方修正といたしました。

経済環境の変化に対応し、 骨太な事業基盤を構築

通信コンサルティング事業、HPC事業において着実に利益を積み上げる他、厳しい経済環境における変化に対応し、商品構成の一部修正により、収益獲得の安定化に努め、骨太な事業基盤の構築を推進してまいります。

第2四半期累計期間で各段階利益を上方修正

PC特需の落ち着きと部材入手難に起因し、売上高については減収と見込んだものの、前年度第4四半期に続き、本第1四半期において、通信コンサルティング事業の利益が大幅に伸長したため、各段階利益の積み上げが順調に進行したことにより、当初業績予想を見直し、**上方修正**といたしました。

第2四半期 連結業績予想

	前回予想	修正予想	増減率
売上高	7,600	7,000	△7.9%
営業利益	100	250	150.0%
経常利益	100	225	125.0%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	50	150	200.0%
一株当たり 当期純利益	5.44円	16.33円	

厳しい経済環境が継続するものの、収益機会の拡大を目指し 更なる事業の成長を推進

当第1四半期においては、新型コロナウイルス感染症の流行の終息が見られず、またウクライナにおける政情の不安定化など、経済環境における先行き不透明感が払拭されず、それらの影響などによるビジネス機会の制限、円安、部材等の価格上昇及び調達難などといった、厳しい経済環境が継続しております。

当社では、このような厳しい経済環境の中、ビジネスモデルの一部修正などを実施し収益の安定化に努めたほか、通信コンサルティング事業、HPC事業において堅調に事業を推進した結果、第1四半期として、各段階利益において最高益を達成いたしました。

なお、通年の業績予想は不確実な事象が多く存在するため据え置くものの、当第1四半期の進捗状況を受け、第2四半期業績予想については上方修正といたしました。

今後も、先行きの不透明感は継続すると見込むものの、新規商材の投入、成長事業への戦略投資により、更なる収益の拡大を推進してまいります。

	2022年 3月期 第1四半期 実績	2023年 3月期 第1四半期 実績	前期比	2023年 3月期 第2四半期 見直予想	2023年 3月期 予想	前期比
売上高	4,348	3,587	82.5%	7,000	16,500	102.10%
営業利益	112	172	153.5%	250	650	90.10%
経常利益	110	147	133.5%	225	640	90.00%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	73	101	137.4%	150	350	91.50%
一株当たり 当期純利益	8.02 円	11.02 円		16.33 円	38.10 円	

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報及び当該情報に基づく過程に依拠しているため、リスクや不確実性を含んでいることから、実際の業績等は様々な要因により業績見直し等とは異なる可能性があり、当社がその実現を約束するものではありません

02

2023年3月期第1四半期決算





メモリ製品製造販売
(メモリ・IoT)



株式会社アドテック、シーアールボックス株式会社
メモリ製品の製造・販売、IoTソリューション事業 等

通信コンサルティング
(通信建設テック)



株式会社バディネット
エンジニアリング事業、コンタクトセンター事業 等

H P C
(高性能科学技術計算機)



株式会社H P Cテック
高性能計算機の開発・製造及び販売事業

その他
(旅館ほか)



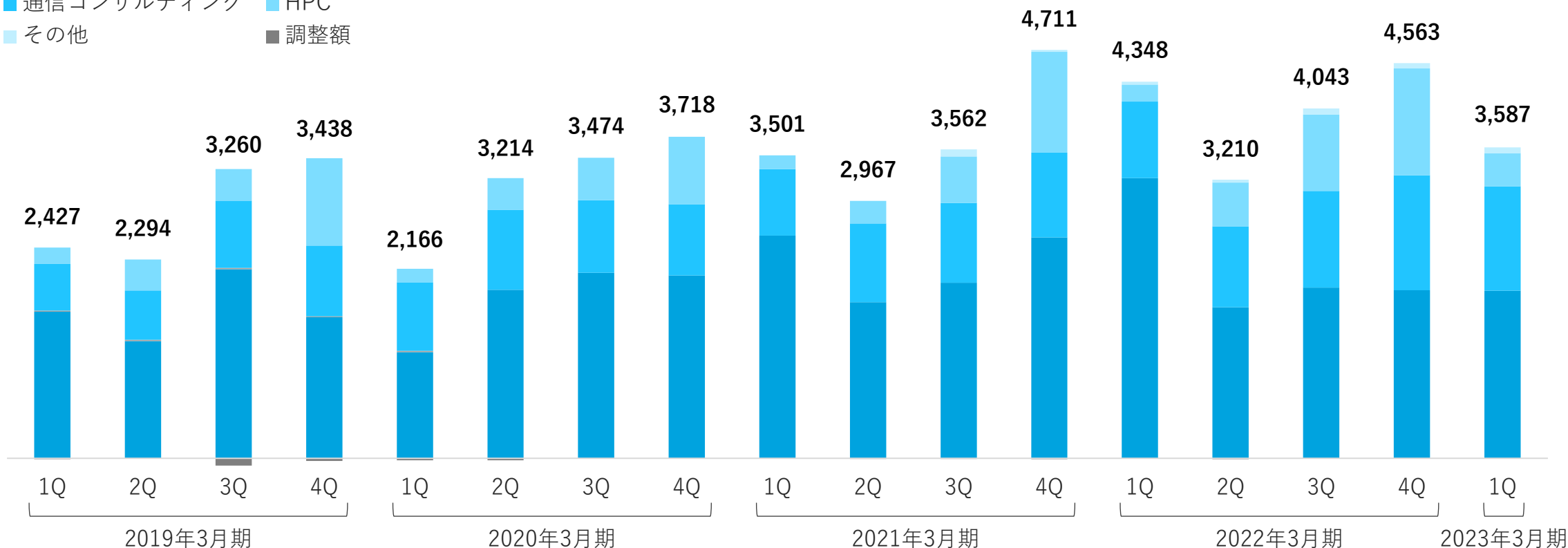
株式会社ダイヤモンドペット&リゾート
旅館事業、ペット商品事業、IT事業、イベント事業、不動産事業 等

第1四半期として、過去最高益を達成

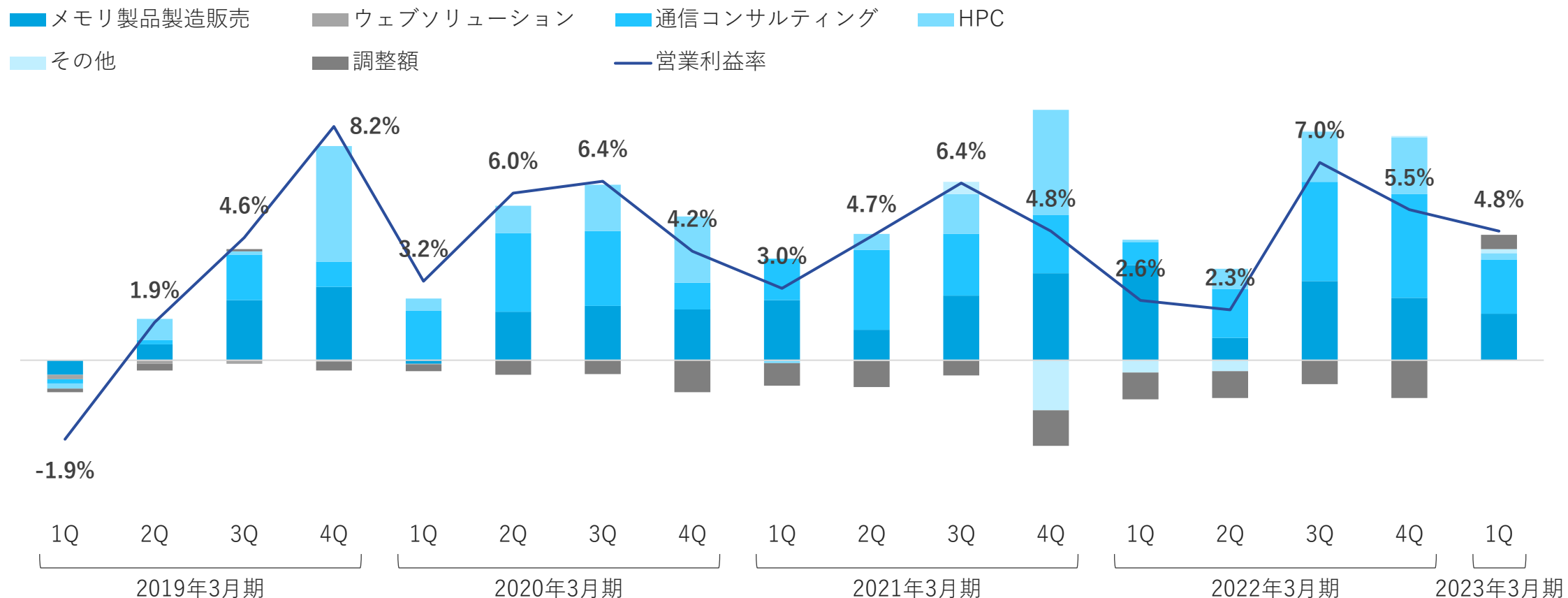
	売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比	トピックス
連結	3,587	82.5%	172	153.5%	第1四半期として過去最高益を達成
メモリ製品製造販売 (メモリ・IoT)	1,937	59.8%	64	49.0%	コロナ禍等による部材調達の長納期化の影響等により前年度第1四半期に比べ売上が減少しているものの、利益水準は堅調
通信コンサルティング (通信建設テック)	1,205	136.4%	74	226.6%	第1四半期としては売上・利益ともに過去最高
HPC (高性能科学技術計算機)	384	194.0%	9	257.5%	第1四半期としては売上・利益ともに過去最高
その他 (旅館ほか)	60	225.0%	25	—	(全社費用等の調整額を含む)

PC特需の落ち着きと部材入手難により減収

- メモリ製品製造販売
- 通信コンサルティング
- その他
- ウェブソリューション
- HPC
- 調整額



通信コンサルティングの伸長により第1四半期としては過去最高益



AKIBAグループの事業規模の拡大に伴い、 経営指導料(※)の算定基準を見直し

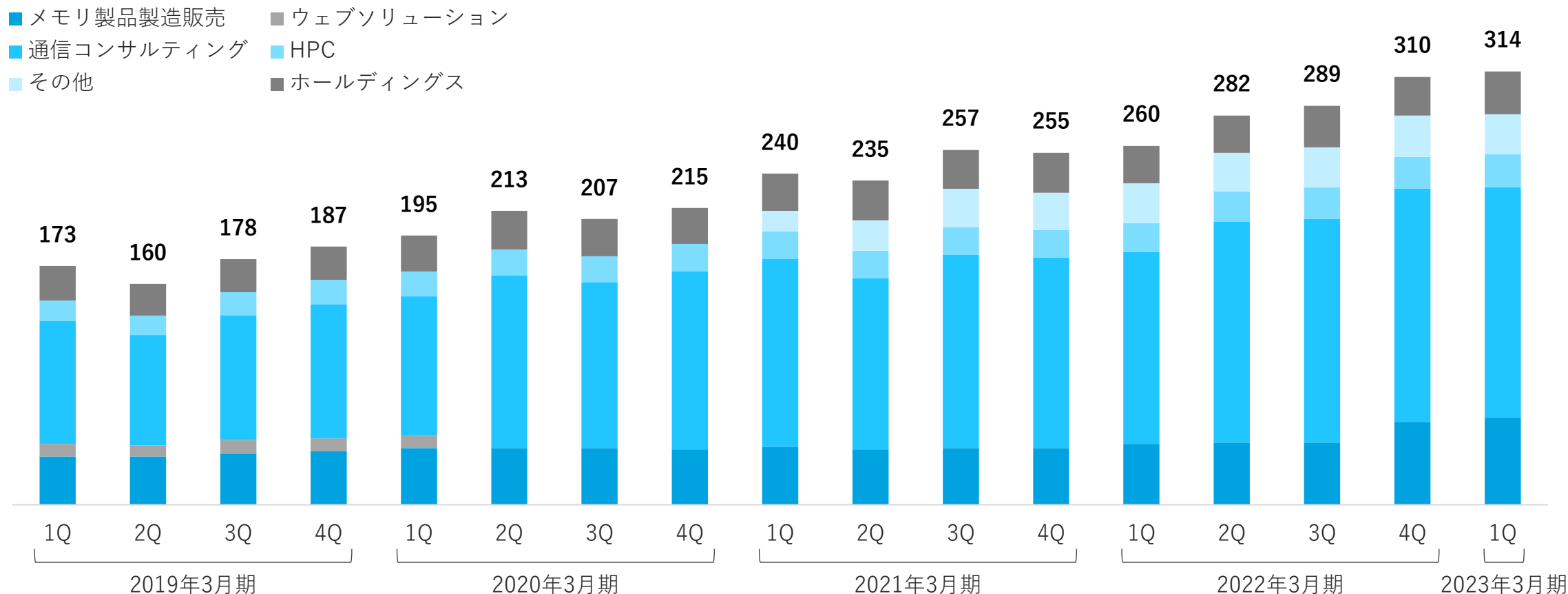
今般、AKIBAグループの事業規模の拡大に従い、各グループ会社での全社費用の負担の方法を見直し、当年度から、経営指導料の各子会社への配分額を修正しております。

(※)AKIBAホールディングスが各子会社に対して提供する、シェアードサービス及び経営管理に関する対価として、各子会社への業務などの提供内容に従い、経営指導料を徴収しております。

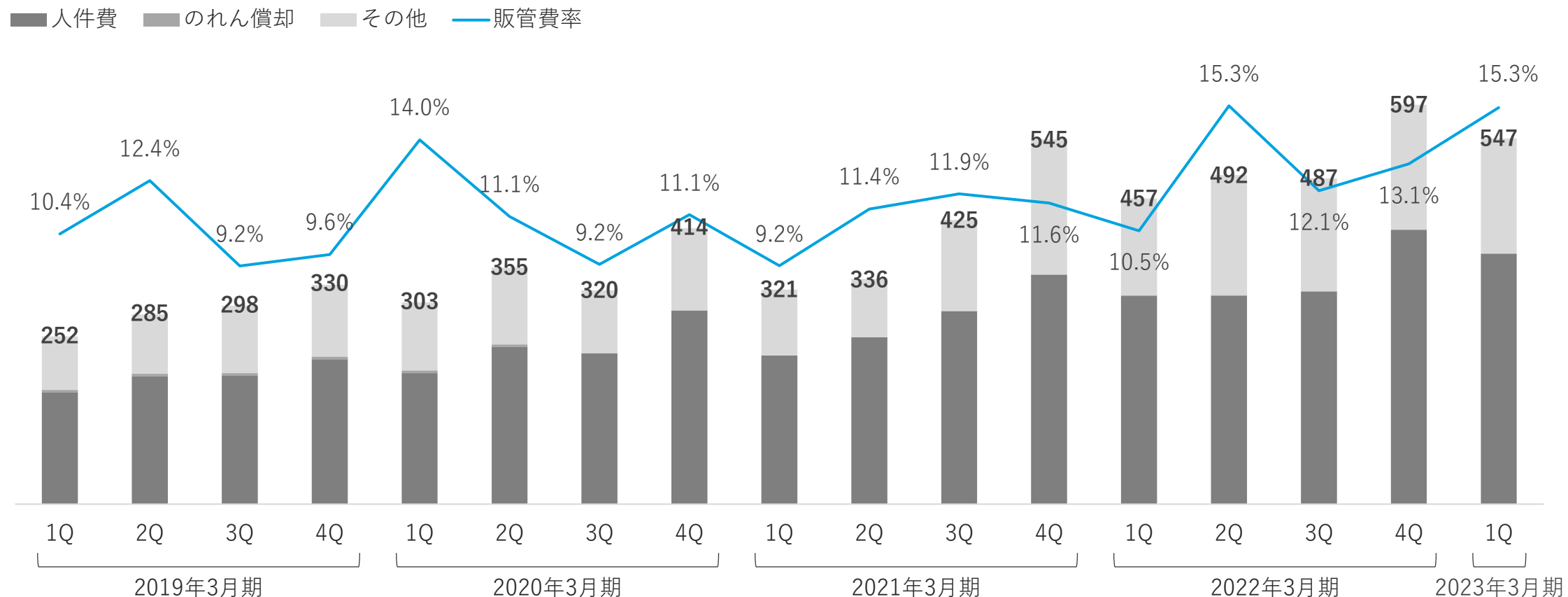
経営指導料

会計期	金額	備考
2023年3月期 第1四半期	92	2023年3月期 より変更
2022年3月期 第4四半期	37	
2022年3月期 第3四半期	37	
2022年3月期 第2四半期	36	
2022年3月期 第1四半期	37	

成長分野・管理部門で引き続き採用強化



事業運営体制の強化により、販管費率が一時的に上昇



事業環境を鑑み、棚卸資産残高を増加

- 部材の調達難、長納期対策の継続により棚卸資産残高が増加しているものの、決済の進捗により、買掛金残高および現預金残高については減少
- 売掛金については、前年度第4四半期に売上計上分の回収が進捗したため、残高が減少

貸借対照表

	2022年3月期 期末	2023年3月期 第1四半期末	前期末比
流動資産	8,764	8,318	94.9
現預金	3,753	3,264	87.0
売掛債権	3,472	3,341	96.2
棚卸資産	1,291	1,467	113.6
固定資産	412	414	100.4
繰延資産	-	-	-
資産合計	9,177	8,733	95.2
流動負債	5,724	5,263	91.9
短期借入金	2,950	3,050	103.4
買掛金	1,766	1,363	77.2
固定負債	779	697	89.5
長期借入金	622	531	85.3
負債合計	6,504	5,960	91.6
株主資本	2,424	2,525	104.2
資本金	700	700	100.0
利益剰余金	1,255	1,356	108.1
負債・純資産合計	9,177	8,733	95.2

PC特需の落ち着き及び部材不足により減収も 堅実な利益の積み上げにより、第1四半期として**過去最高益**

- PC特需の落ち着きと部材入手難に起因し売上高については減収
- 先を見越した収益構造の一部見直し、及び、通信コンサルティング事業での受注件数の増加による堅実な収益の積み上げにより、各段階利益において第1四半期として、**過去最高益を達成**

損益計算書

	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	前期比
売上高	4,348	3,587	82.5
売上原価	3,778	2,867	75.9
売上総利益	569	720	126.3
販売費及び一般管理費	457	547	119.6
営業利益	112	172	153.5
営業外収益	7	3	43.5
営業外費用	9	28	302.5
経常利益	110	147	133.5
特別利益	-	-	-
特別損失	-	-	-
税金等調整前当期純利益	110	147	133.5
法人税等合計	35	43	122.0
当期純利益	74	103	139.0
非支配株主に帰属する当期純利益	0	2	306.9
親会社株主に帰属する当期純利益	73	101	137.4

03

2023年3月期業績予想

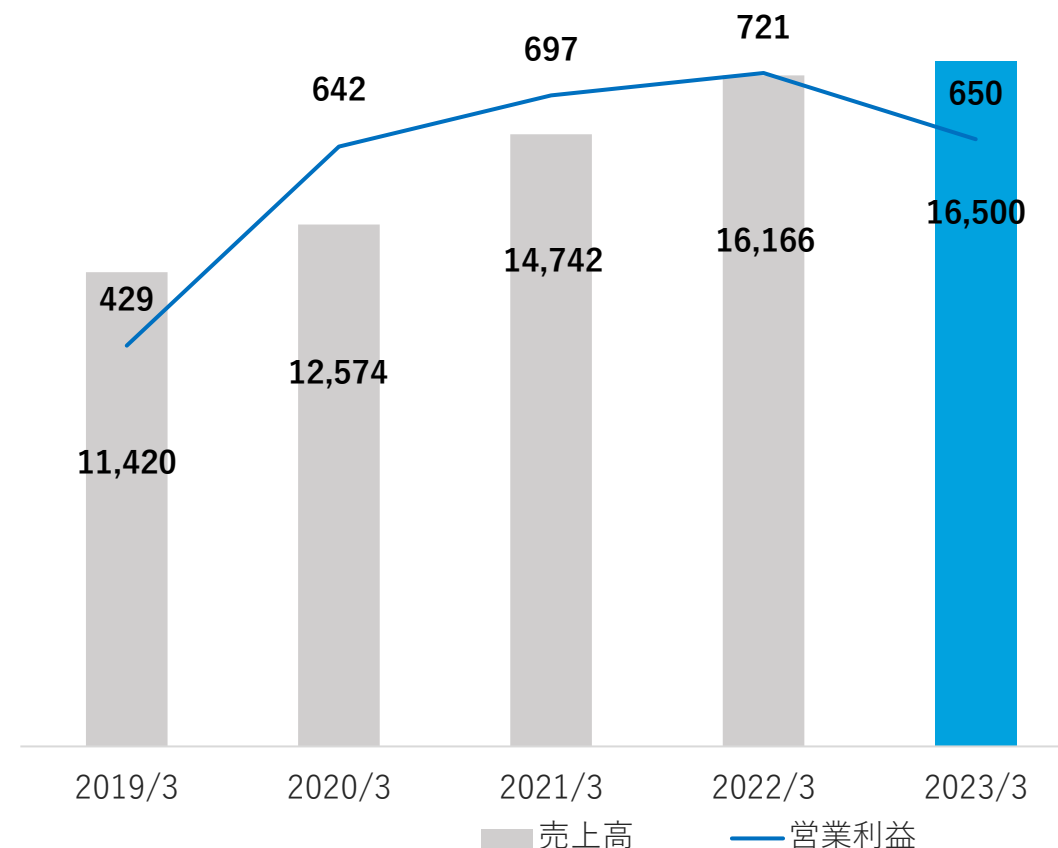


第2四半期累計期間で各段階利益を上方修正も、 通期予想は据え置き

通期予想

売上高	: 16,500	前期比	: 102.1%
営業利益	: 650	前期比	: 90.1%

第2四半期累計期間業績予想で上方修正したものの、世界経済の先行き不透明感は継続するものと見込み、通期予想は、一旦据え置きとしております。しかし、事業努力により更なる事業の拡大を推進してまいります。



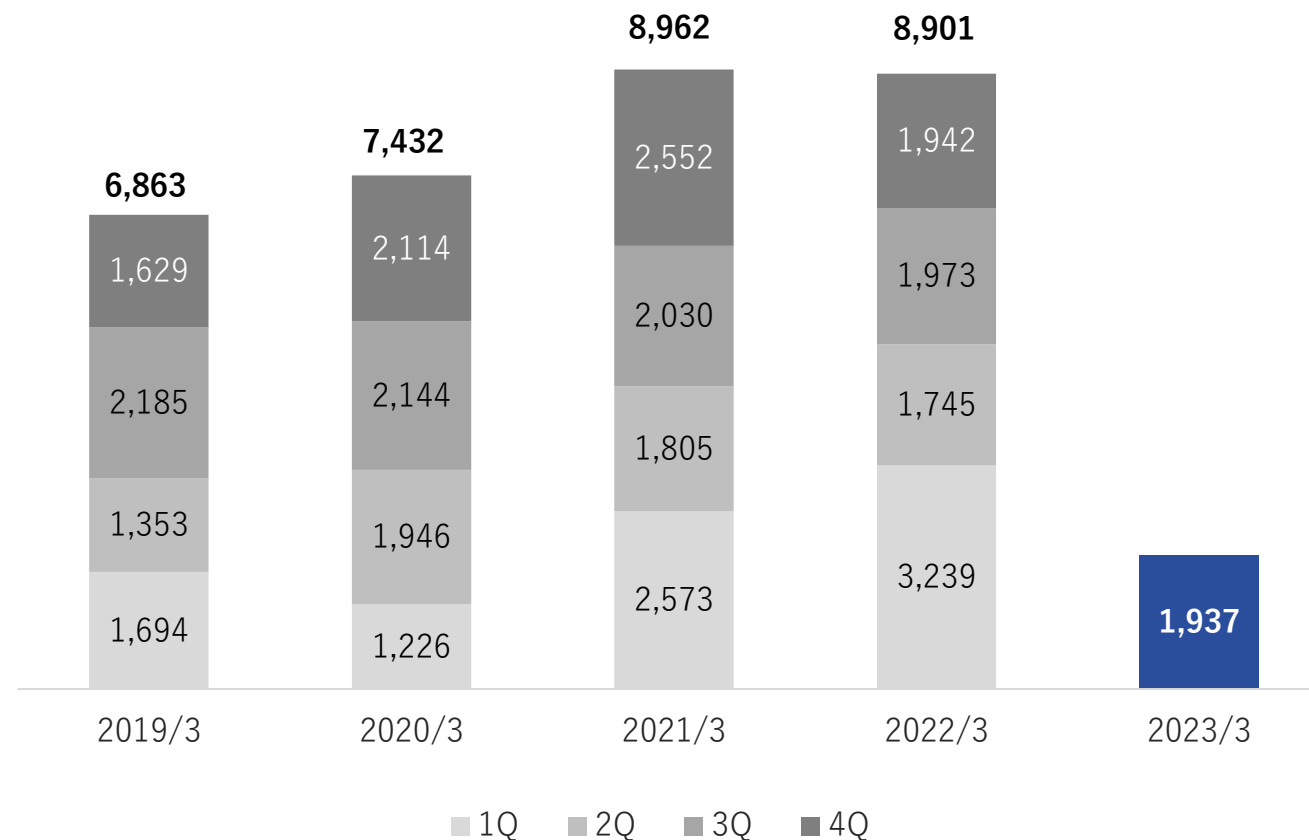
04-1

セグメント別概況 (メモリ製品製造販売事業)



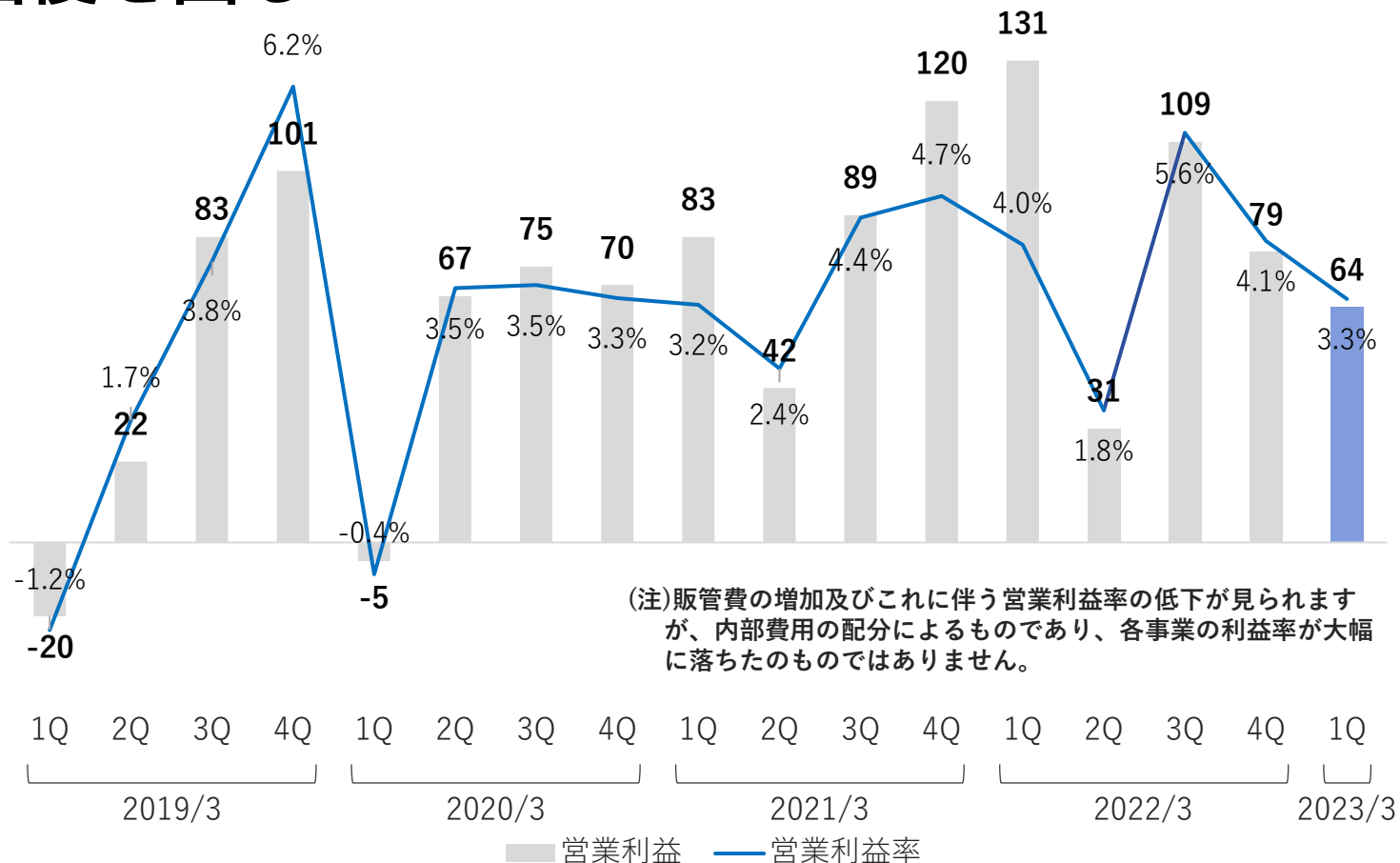
PC特需の落ち着きと部材入手難に起因し 売上高については減収

- コロナ禍及びウクライナ危機などの影響から引き続き部材の調達環境への注視が必要
- 法人向けや産業用製品の需要は回復しているため、長納期化対策としての部材の確保への対応を促進し、販売機会の創出を推進
- B2C向け商品の拡充を図り、販路の多様化を図る
- 一次産業向けIoTビジネス商品の開発を促進し、新たなる事業の柱に育成の方針



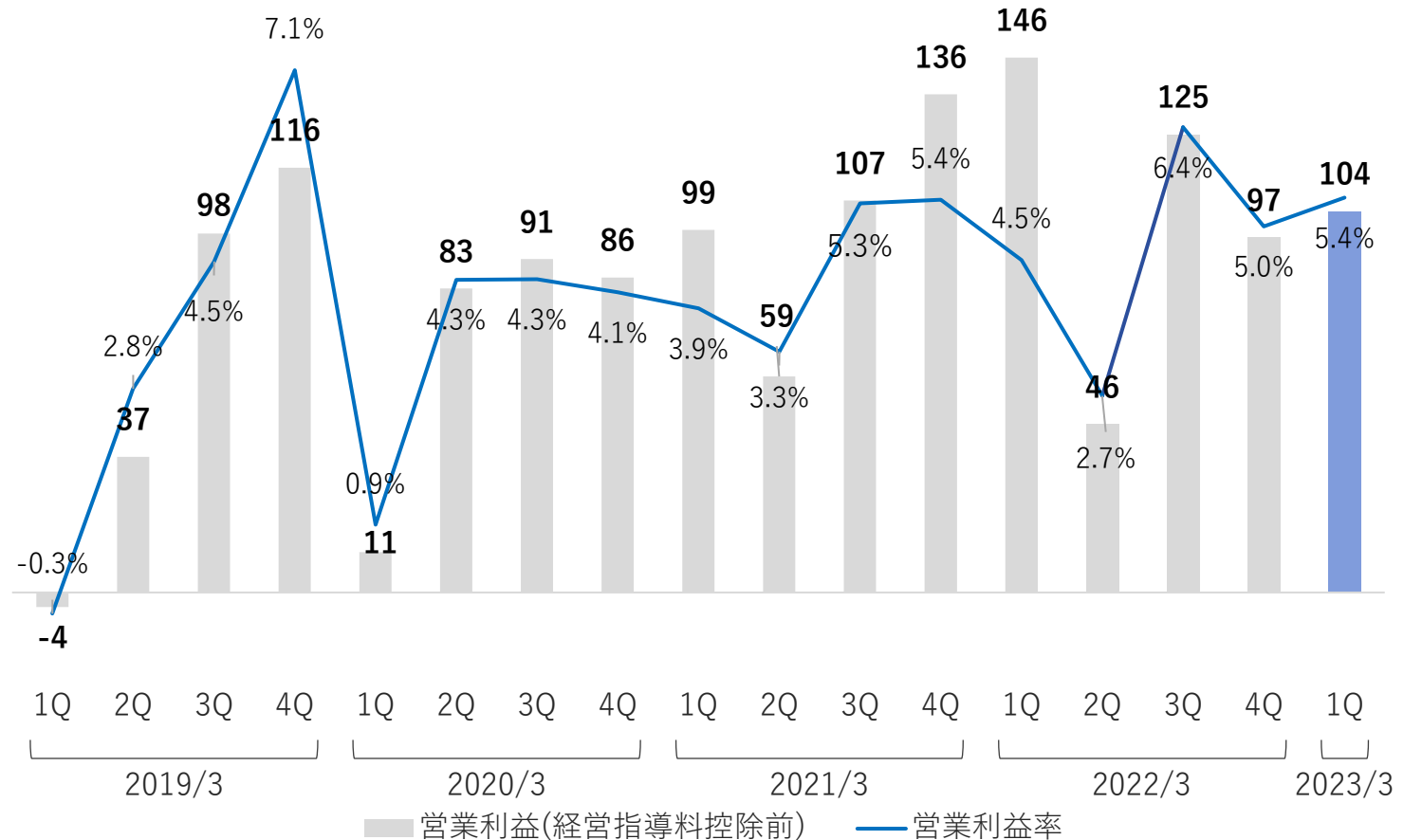
PC特需の落ち着きと部材入手難を受け一時的に減益も、 収益構造の見直しにより回復を図る

- 部材の調達難などにより電子部品の取得原価が高騰。代替品を利用するも、利益率の低下が発生
- サプライチェーンの滞留による部材の調達への制限が継続し、購入需要を全て消化しきれていない環境は継続
- 新製品の開発及び既存事業を活用した新ビジネスモデルの構築により収益獲得構造の見直しを更に推進



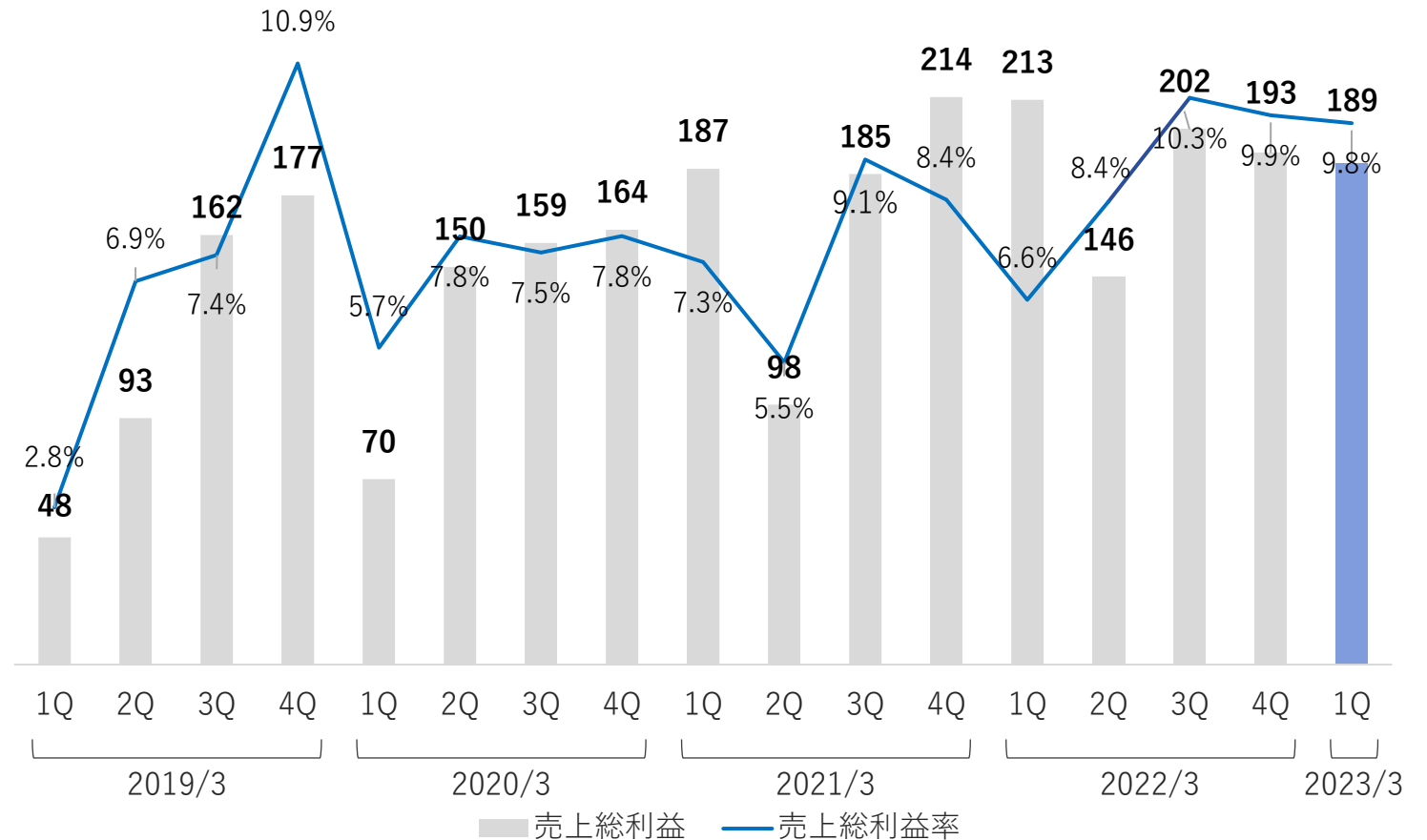
経営指導料の算定基準の見直しに伴う過年度利益比較（1）

経営指導料の各子会社への配分額の修正による大幅な影響があるため(P.12参照)、過年度との比較性を考慮し、通常の営業利益による比較に加え、営業利益から経営指導料を差し引いた利益で、過年度比較を実施しております。

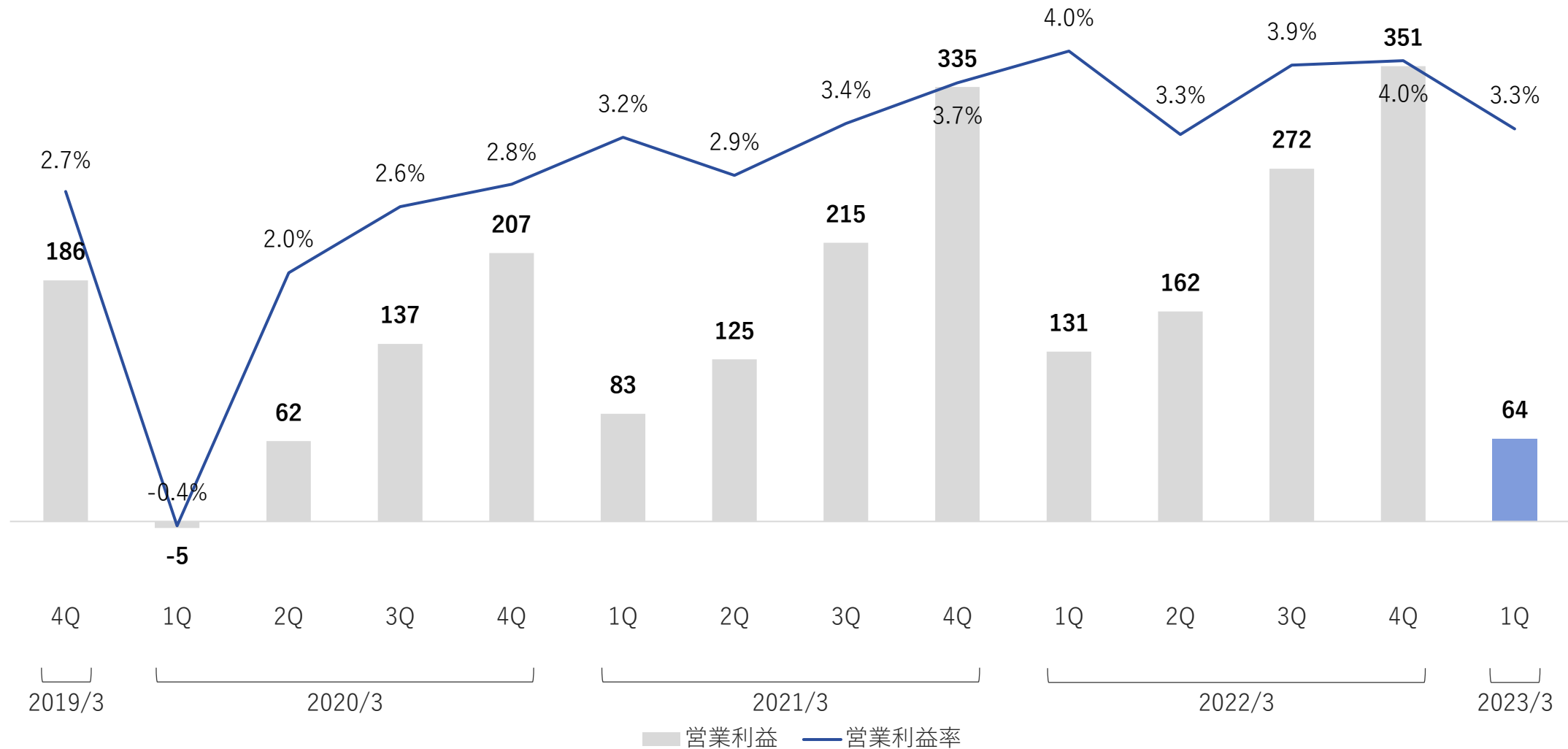


経営指導料の算定基準の見直しに伴う過年度利益比較（2）

経営指導料の各子会社への配分額の修正による大幅な影響があるため(P.12参照)、過年度との比較性を考慮し、通常の営業利益による比較に加え、売上総利益で、過年度比較を実施しております。



セグメント別概況 - メモリ製品製造販売事業 | 営業利益 累計期間



産業・組込用小型コンピュータを新発売

- インテル® 第11世代 CPU搭載 + アドテックブランドの産業用メモリ・SSDを搭載

国内組立検査、国内在庫の
産業・組込PCをリリース

最新のIntel第11世代のCPUを搭載し、従来の旧世代CPUより格段に高い処理能力とコストパフォーマンスでお客様の生産性向上に貢献いたします。
筐体はファンレスとファンドの2種類、搭載CPUはIntel Core™ i7、i5、i3、Celeron™に対応し、エッジ向け小型組込みPCのボリュームゾーンにフォーカス。産業系のニーズにダイレクトに対応。
また、同シリーズは在庫の確保により、受注後約2週間程度での納品が可能となっております。



Fシリーズ
(ファンモデル)

製品特長

- ☑ intel® 第11世代 CPUを搭載
- ☑ CPUはCeleron™, Core™ i3, i5, i7と豊富にラインアップ
- ☑ メモリモジュールと SSD はアドテック社の産業用・組込用向けの高品質製品を搭載。



Nシリーズ
(ファンレスモデル)

新製品の開発に注力、個人向け製品の商品拡充

**PD3.1規格準拠 140W
(28V/5A) 出力対応
PD充電器**

販売開始

MacBook Pro (16インチ/2021) で140W充電に対応、さらに、USB4 Gen3ケーブルと同時に使用することで対応機器と140W充電を実現いたします。PD3.0の充電器として100W出力+30Wで使用した場合、高出力を必要とするノートパソコンを充電しつつ、タブレットやiPhoneの30W高速充電にも対応。また、PPS (Programmable Power Supply) に対応。小さいステップで電圧と電流をコントロールすることで、対応機器と適切な電力供給し高速充電と高効率化の両立を実現いたします。



**240W 8K 60Hz 出力対応
Type-Cケーブル**

販売開始

PD3.1に準拠した最大240W/48V/5A対応し、高速転送USB4 Gen3 40Gbpsにも対応し、eMarkerを搭載することにより、接続機種とPD充電器から適正電圧を感知、安定した充電を実現。また、アルミボディに金メッキコネクタを採用した高品位ケーブルになります。映像伝送は、DP Alt Mode (オルタネートモード) 対応機器と接続することにより 8K (7680 x 4320/60Hz) / 4K (3840 x 2160/60Hz) / Full-HD (1920 x 1080/60Hz) 出力対応。対応したパソコンやスマホ、Switchなどで使用可能です。



IoT端末の開発及びクラウドビジネスの拡大強化

エビの陸上養殖向けに
クラウド対応型の
DOセンサーを開発

遠隔で24時間水質の監視が可能。

水中の溶存酸素、水温データを自動的にクラウドにアップするクラウド対応型のDOセンサーを開発。

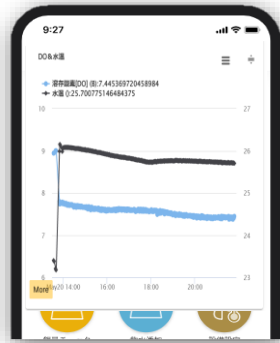
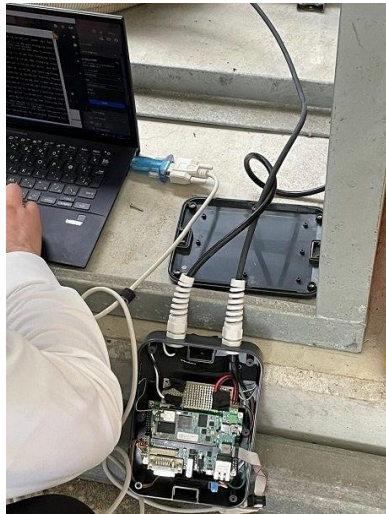
株式会社アクト・ノードの開発したアプリケーションACT.APP（アクト・アップ）と連携することにより、いつでも、どこからでも、スマートフォンやPCで、簡単に水質の状態を確認することができます。



(左) DOセンサー [溶存酸素計]

(右) 株式会社アクト・ノードのアプリケーション【アクト・アップ】

導入事例 ～株式会社シナジーブリーディングでの実証実験～



クラウドに上がったデータをスマホアプリで可視化が可能に

従来は作業者が現場まで行き水質の監視をしていたが、クラウドに上がったデータを、アクト・ノード社のアプリ「アクト・アップ」と連携したことにより、現場に行かずとも、24時間、365日、いつでも、どこからでも、スマートフォンやPCから確実に水質の監視が可能に。

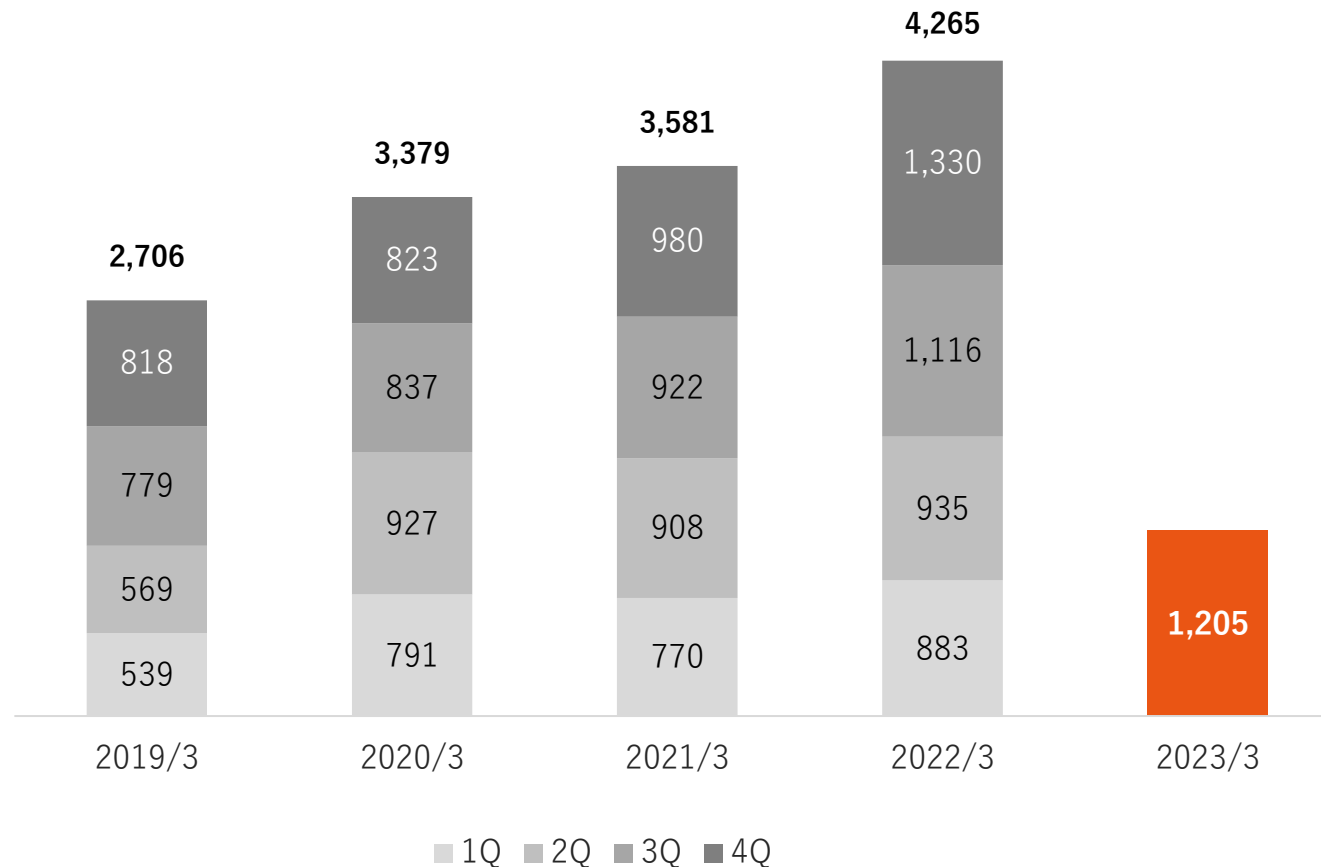
04-2

セグメント別概況 (通信コンサルティング事業)



事業全体の積み上げにより第1四半期において過去最高の売上高を達成

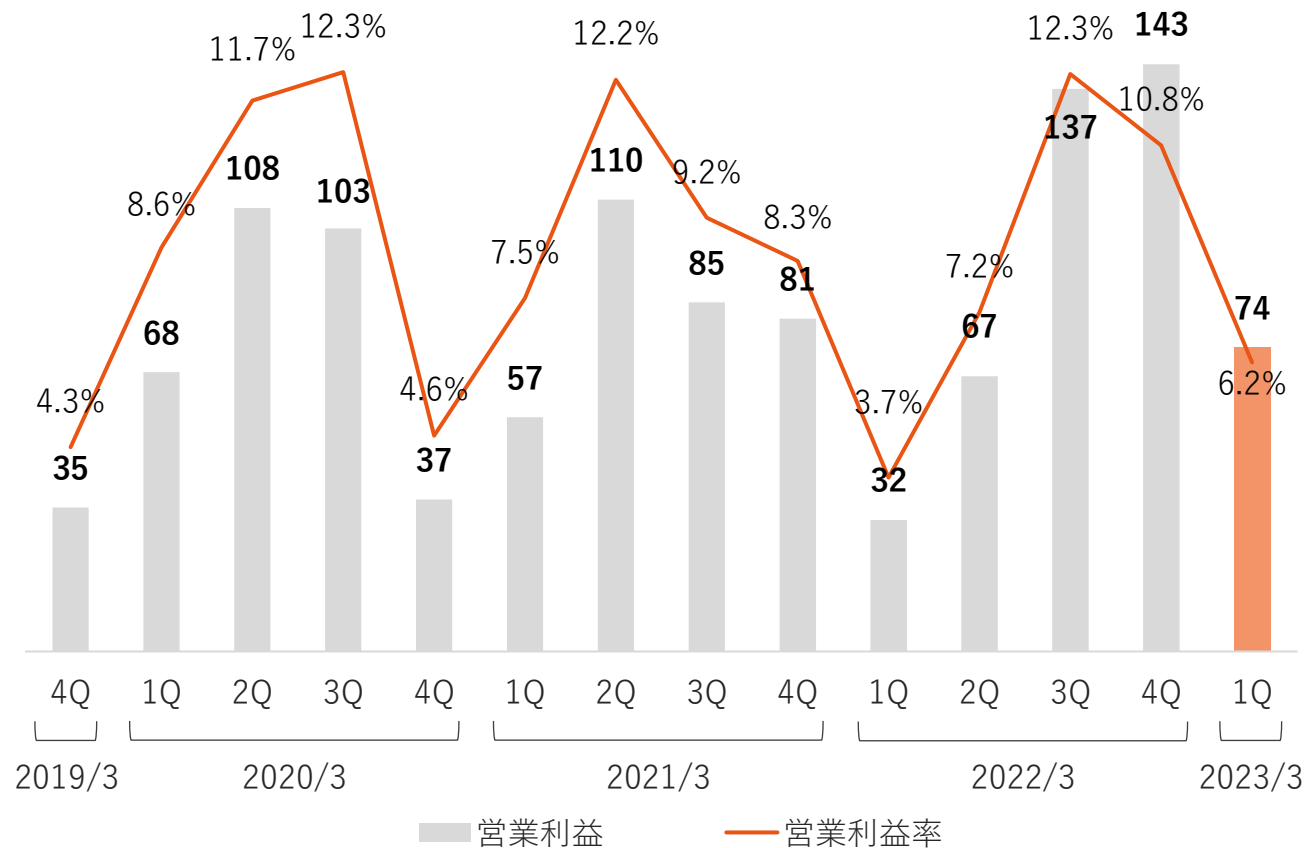
- キャリア3Gサービス終了に伴う関連工事の増加の他、通信建設工事の受注件数を高水準に維持
- 前期でのコンタクトセンターの増床により受注件数が堅調に伸長
- 既存事業の強化及び新規案件の収益化の推進により、更なる成長を目指す



売上高と同様に、第1四半期として過去最高益を達成

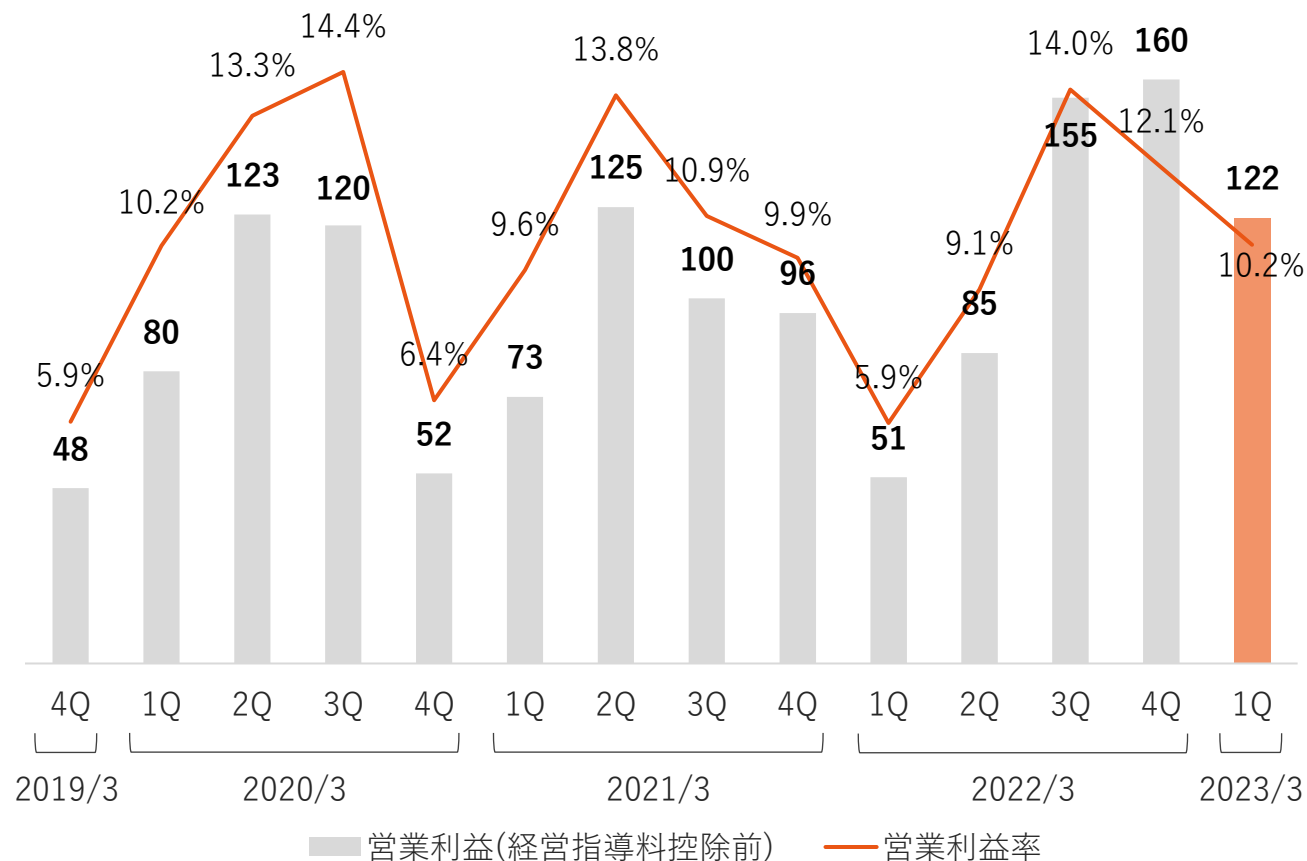
- 前年度第4四半期に続き、順調に利益の積み上げが進み、第1四半期として、過去最高益を達成
- キャリア3Gサービス終了に伴う関連工事の受注件数が増加
- コンタクトセンターの増床に伴う受注体制の見直しにより、効率化を推進し収益の向上を図る

(注) 販管費の増加及びこれに伴う営業利益率の低下が見られますが、内部費用の配分によるものであり、各事業の利益率が大幅に落ちたものではありません。



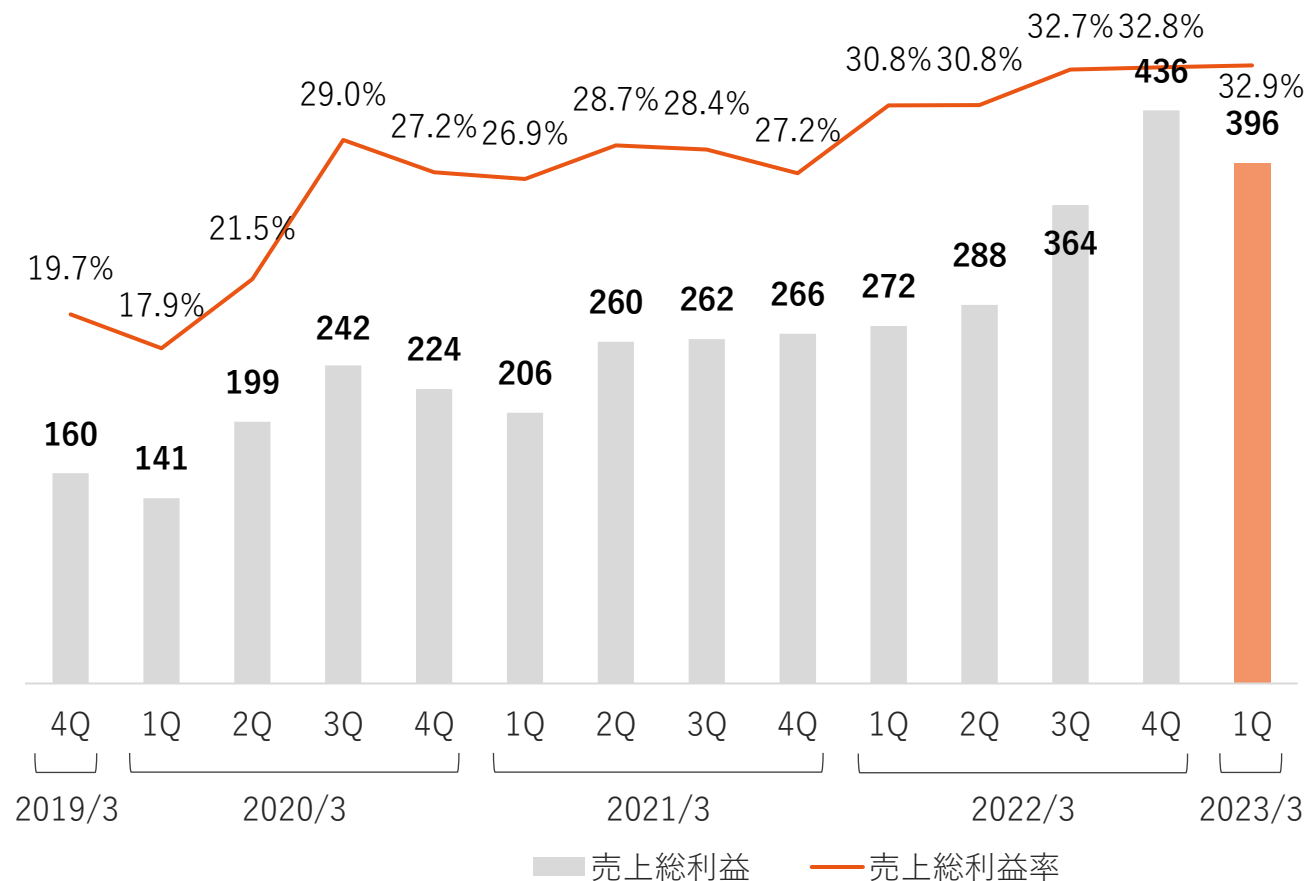
経営指導料の算定基準の見直しに伴う過年度利益比較（1）

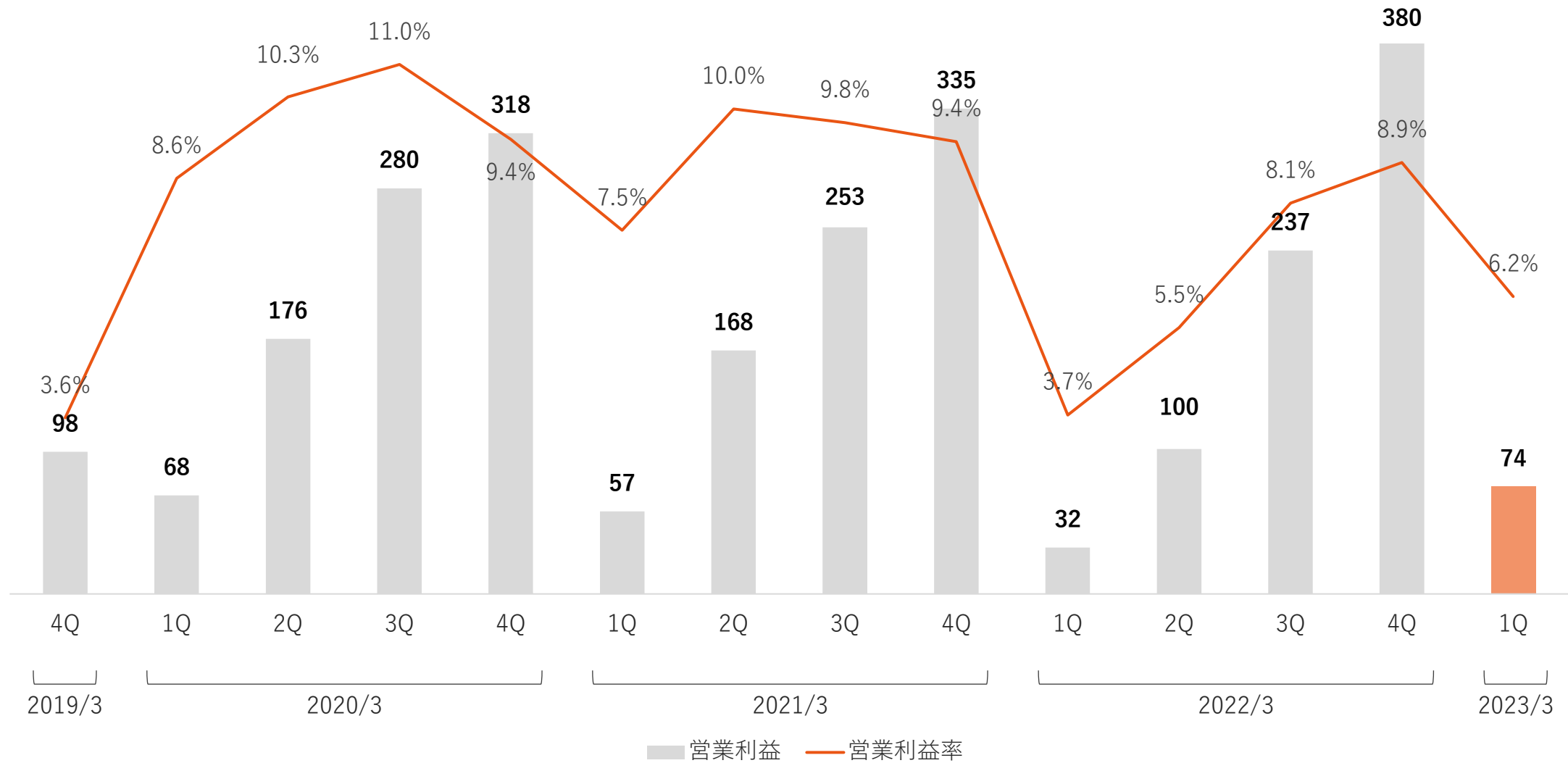
経営指導料の各子会社への配分額の修正による大幅な影響があるため(P.12参照)、過年度との比較性を考慮し、通常の営業利益による比較に加え、営業利益から経営指導料を差し引いた利益で、過年度比較を実施しております。



経営指導料の算定基準の見直しに伴う過年度利益比較（2）

経営指導料の各子会社への配分額の修正による大幅な影響があるため(P.12参照)、過年度との比較性を考慮し、通常の営業利益による比較に加え、売上総利益で、過年度比較を実施しております。





2023年第1四半期における新たな取り組み

エンジニアリング事業

ロボット関連事業

▶ 商業サービスロボット保守

飲食サービス業向け配膳ロボットの全国保守を開始。
各種サービスロボットの設置・保守案件対応を強化していく。
「通信建設テック®」を活用した、専門オペレータによる遠隔保守の確立を目指す。

基地局保守関連事業

▶ 基地局設備への遮熱塗料塗布

通信キャリア基地局設備への遮熱塗料塗布業務を開始。
既存のポリマテリアル充填工法や、各種補強関連工事と共に、
携帯基地局保全のトータルソリューションの確立へ。

住宅設備関連事業

▶ 住宅設備機器保守サポート業務

通信建設工事分野で構築した全国施工/保守体制の対象領域を拡大。
工事部門、コールセンター部門、開発部門の連携で、IoTの主戦場である
屋内の住宅設備に対するIT化された施工/保守/保全まで一気通貫の
サービス展開を強化。

コンタクトセンター事業

遵法化対応サポート案件の強化

▶ 道交法改正に伴うアルコールチェックサポート

24日365稼働の体制を活用し、早朝、夜間の対応が求められるアルコール
チェックのサポート業務の受託を開始。スマホ連動型の検知器とコンタクト
センター運用の融合させ、ITをフル活用したソリューションの構築を図る。

遵法化対応サポート案件の強化

▶ 公益通報者保護法改正に伴う通報窓口

内部通報の受付体制の整備義務に関する改正を受け、
通報窓口の代行業務の受託を開始。
ノウハウを活かし各種法改正に伴うニーズのキャッチアップを図る。

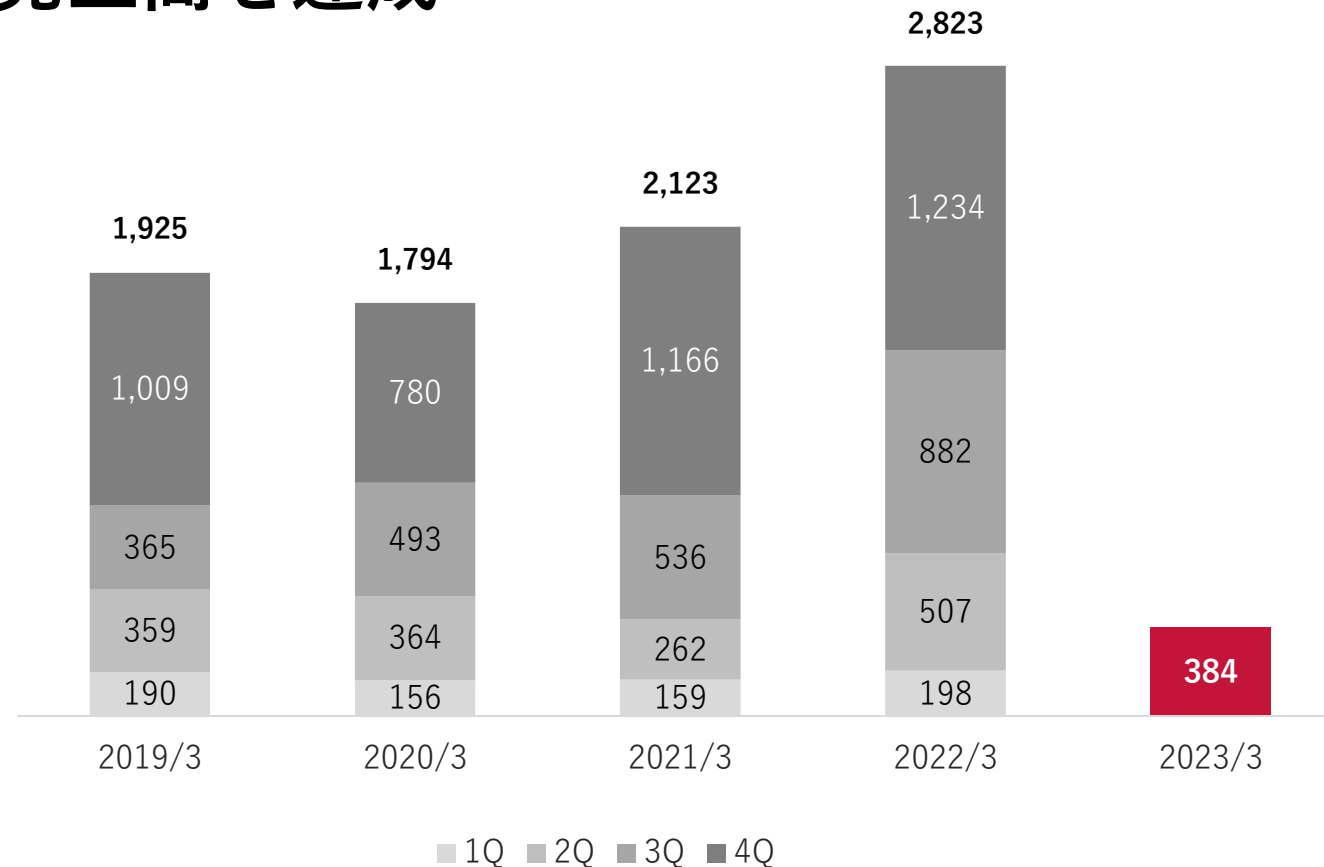
04-3

セグメント別概況 (HPC事業)



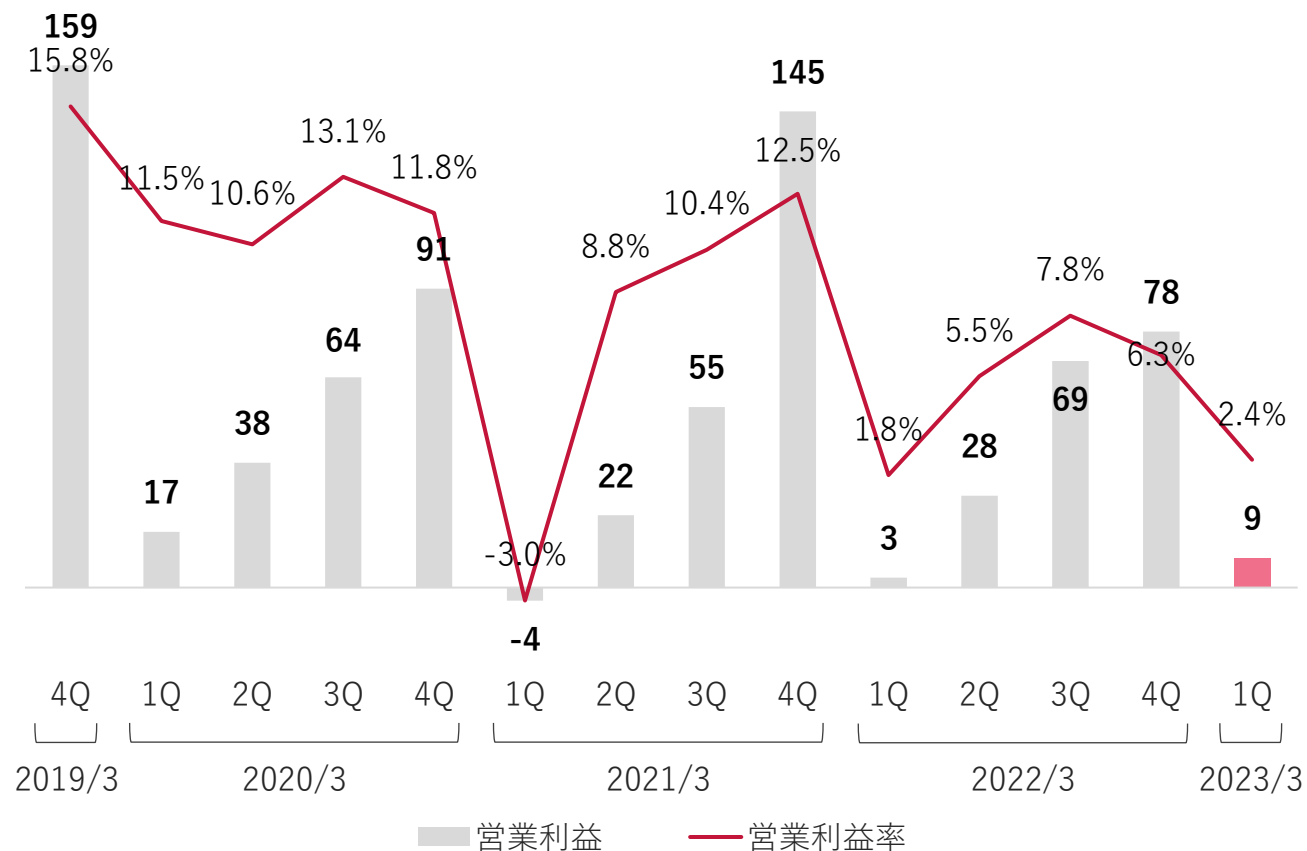
前年度第4四半期の勢いを継続し、 第1四半期として過去最高の売上高を達成

- 人員増強及び拠点増設の効果により売上拡大が継続。営業人員の販売力強化を推進し、更なる収益力の向上に努める
- コロナ禍の影響により減少していた学会の開催が増加の傾向。対面販売の機会の増加により売上の拡大を見込む

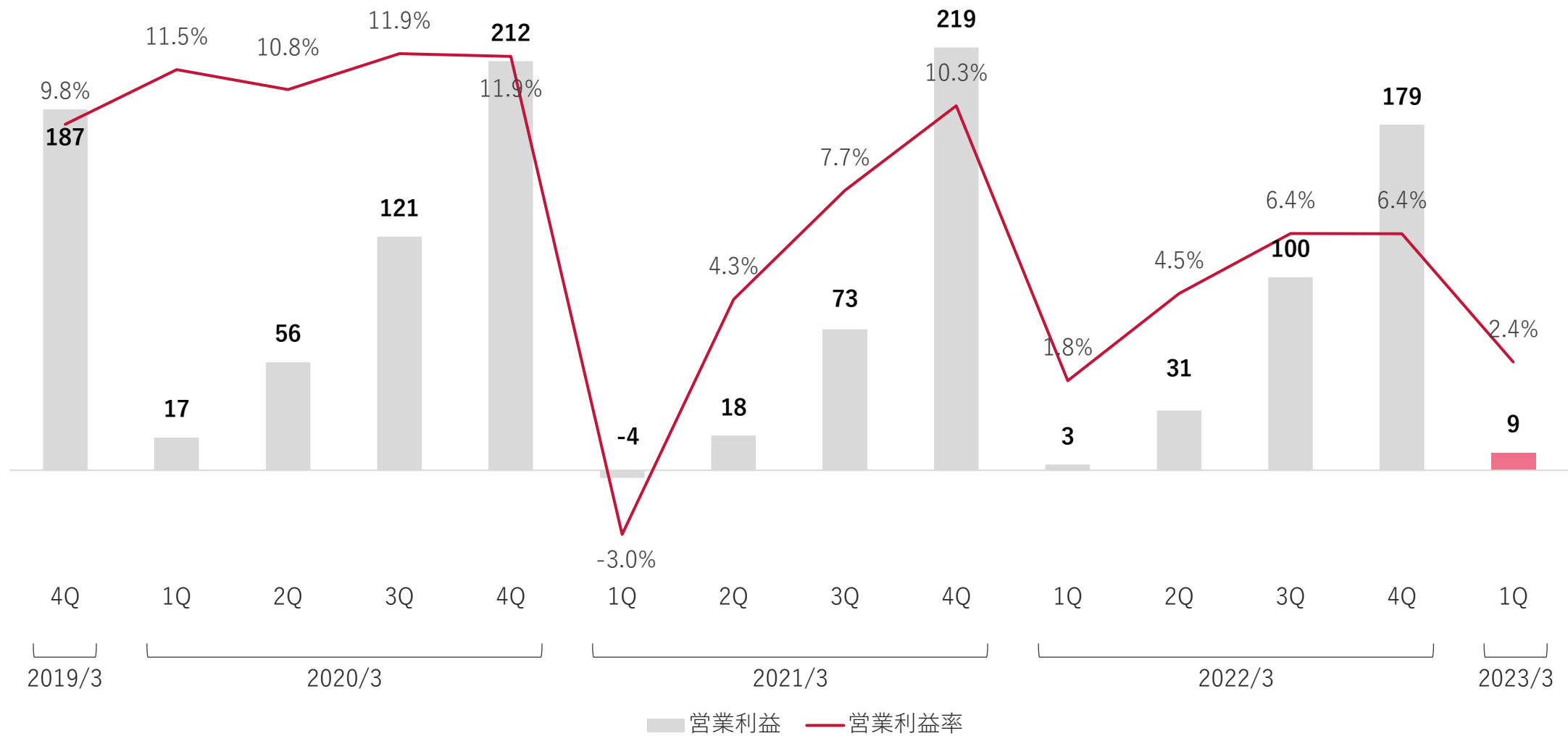


第1四半期として、黒字を確保

- 販路及びビジネスモデルの影響から下期偏重の事業モデルであるが、第1四半期としても黒字を確保
- コロナ禍及びウクライナ危機による部材の調達難及び原価の高騰並びに円安の影響により、利益率の確保に関し懸念点があるものの、部材の先行取得、付加価値の向上により、利益の獲得を推進



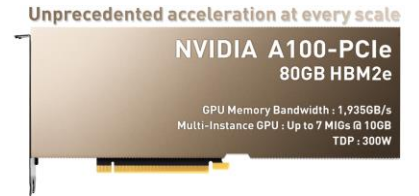
セグメント別概況 -HPC事業 | 営業利益 累計期間



新製品のラインナップ拡大、キャンペーン実施（1）

キャンペーン① (2022年3月)

NVIDIA A100 PCIe 80GB メモリ 搭載モデルを
教育機関様向けに特別価格にてご提供



キャンペーン② (2022年4月)

AI開発・ディープラーニング専用マシンを用途に合わせ
カスタマイズ・設定した上で、特別キャンペーンにてご提供

キャンペーン③ (2022年5月)

AMD XILINX VCK5000 Versal 開発カードをキャンペーン販売
HPCテックでは計算機に搭載し設定を済ませた状態でお客様に
お届けいたします



新製品のラインナップ拡大、キャンペーン実施（2）

新製品リリース① （2022年4月）

新たな GPUアーキテクチャ NVIDIA Hopperと Hopperベースの GPU、NVIDIA H100を投入
ハイパフォーマンスで大規模なAIとHPCを加速します

新製品リリース② （2022年5月）

NVMe に対応した RAID システムを採用したオールフラッシュストレージサーバ
HPCT SG2E32-GRAID をリリース



アカデミア向けに順調に実績を積み上げ

導入事例① (2022年4月)

京都工芸繊維大学
数値材料デザイン
研究室 様

コンピュータシミュレーションに活用する、
小型スパコンとも言えるGPU搭載サーバーを納品

導入事例② (2022年4月)

大阪大学
基礎工学研究科
長井研究室 様

AI学習を加速するため、NVIDIA 社の GPU搭載
アプライアンスサーバーであるNVIDIA DGX A100 をご導入



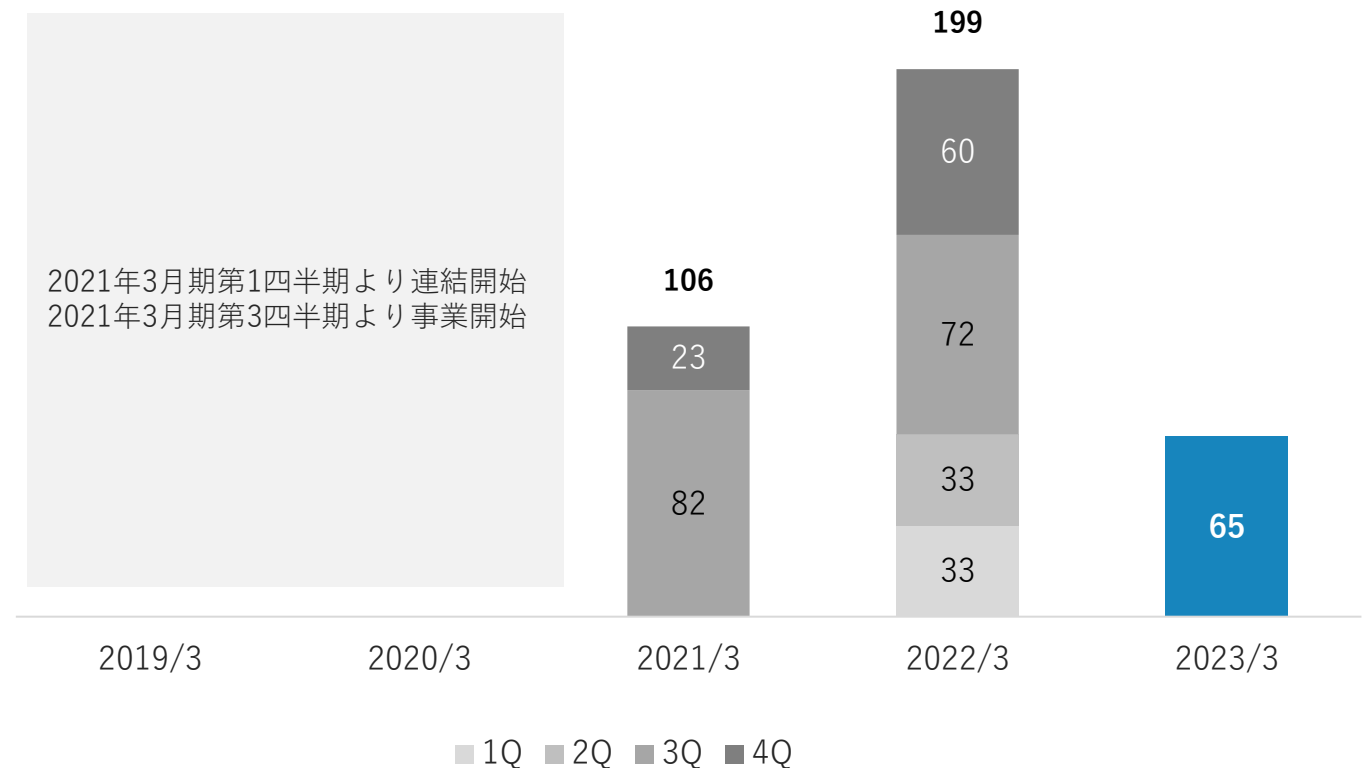
04-4

セグメント別概況 (その他事業)



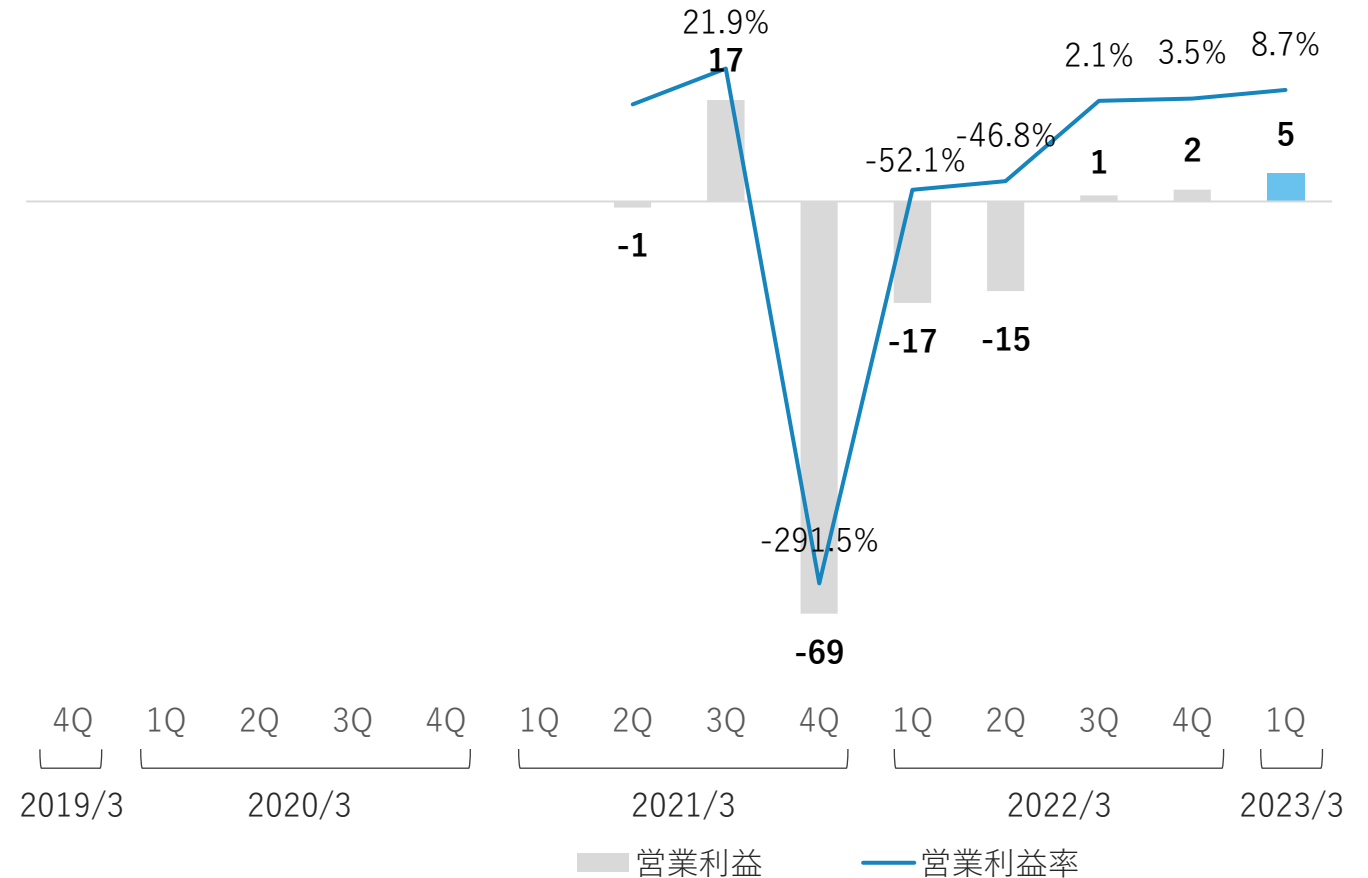
コロナ禍を越え収益の安定化を推進 今後の経済環境の安定化により、更なる収益拡大を見込む

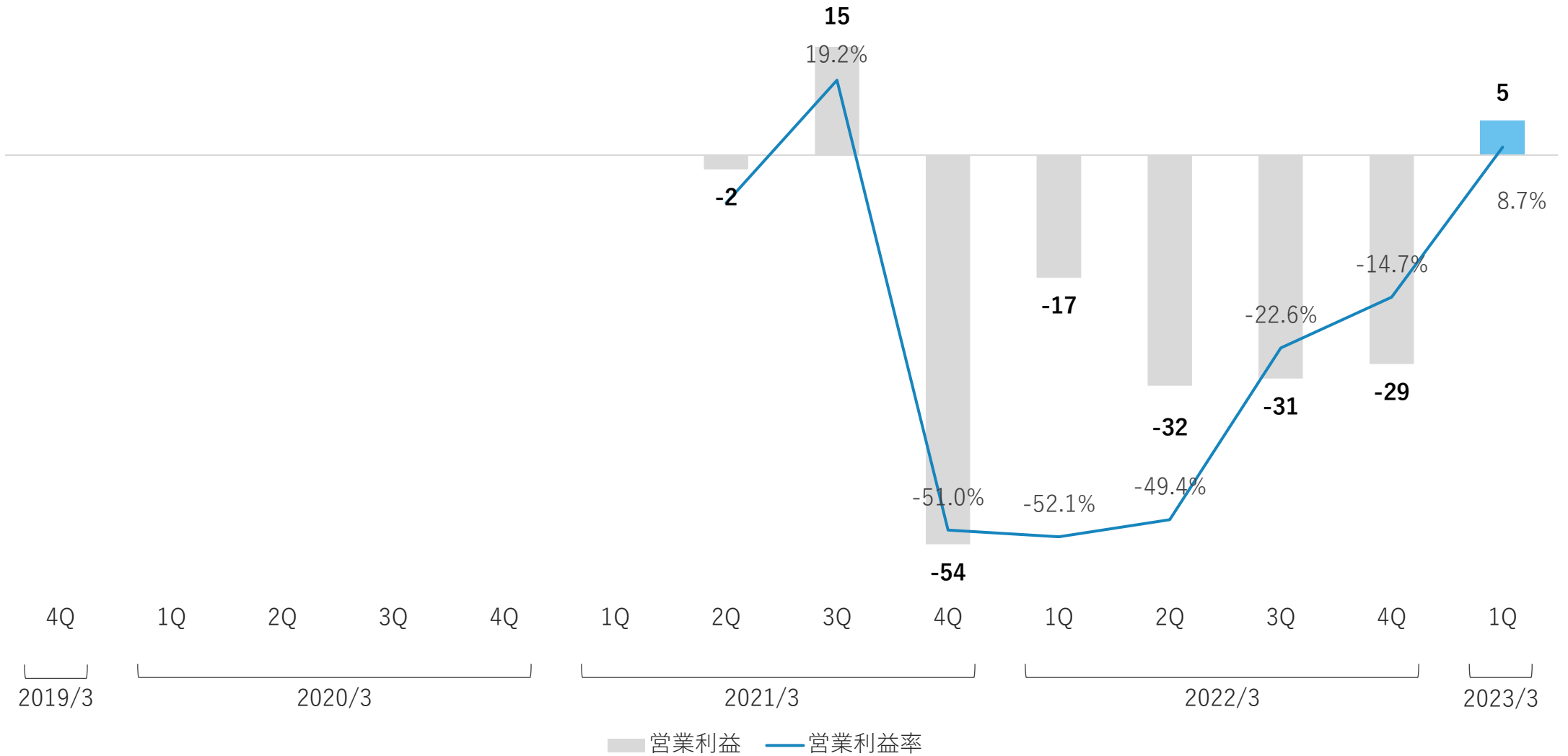
- 2020年10月より営業開始
- 緊急事態宣言の解除とまん延防止等重点措置の解除により2023年第1四半期は売上が伸長
- 今後もコロナ禍の影響の存在が否めないものの行政による観光対策の活用、広告等集客施策の効果的な利用により新規顧客を獲得するほか、リピート客の更なる掘り起しにより、安定的な収益の獲得に努める
- コロナ禍の副次的影響として、ペットの飼育数が増加しており、今後の潜在的需要先として期待



売上の拡大により、利益状況も安定して推移

- 利用客の増加に伴い客室の稼働率が向上し、売上ならびに利益状況についても安定的に推移
- 追加オプションによる収益機会の多様化により、収益環境を改善
- オペレーションの効率化による原価構造の見直しにより、利益率の向上を推進





タイアップイベントや各種プランの充実、館内設備の修繕により 売上機会の拡大を図る

タイアップイベント / 各種プランの充実

ペット用品ブランドとのタイアップ企画でフォトコンテストを開催
日帰りプラン、FREEドリンクプラン等の開始

客室設備の修繕実施

客室設備のリニューアルによる稼働可能室数の増加で売上UP



Webマーケティングへの取り組み強化により、 顧客満足度の向上と収益機会の拡大を図る



SNS対応の強化

お客様滞在中におけるサービスの見直しを図り、SNSなどにおける口コミ高評価を多数獲得

顧客特典の実装

顧客に向けた特典を用意し、直接予約を増やし利益率の向上を目指す

ブランディングの強化

Webサイトを含めたブランディングを強化し、売上増加に寄与

その他プロモーションの強化により積極的に認知拡大を図る

8月31日まで期間延長!!

オトクに泊まれる県民割!
地域限定クーポンももらえる!

県民 一家族旅行 第3弾

とちぎを旅して、とちぎに泊まろう

県民割の実施



テレビドラマへのロケ協力・メディア出演

05

参考資料



商号	株式会社AKIBAホールディングス（旧株式会社アドテック）
上場市場	東京証券取引所スタンダード（証券コード：6840）
設立	1983年2月17日
資本金	7億円（注）本年6月27日付の株主総会で、本年9月1日を効力発生日とする 資本金の額が1億円となる減資の決議を得ております。
事業内容	持株会社としてグループ全体の経営戦略の策定・推進、 グループ経営の監査、その他経営管理並びにそれらに 付帯する業務
決算期	3月末
役職員数	314名（連結 2022年6月末日）
本社所在地	〒104-0045 東京都中央区築地2-1-17陽光築地ビル Tel：03-3541-5068(代表) Fax：03-6260-6258

役員	代表取締役社長	馬場 正身
	代表取締役副社長	堀 礼一郎
	取締役 CFO 管理本部長	五十嵐 英
	取締役 管理本部副本部長	富山 理布
	取締役 グループ監査室長	後藤 憲保
	取締役（社外）	丸山 一郎
	取締役（社外）	黒部 得善
	取締役（社外）	後藤田 翔
	常勤監査役	内藤 城次郎
	監査役（社外）	石本 圭司
監査役（社外）	西田 史朗	
監査役（社外）	中川 英之	
補欠監査役（社外）	藤浪 努	
会計監査人	KDA監査法人	
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社	

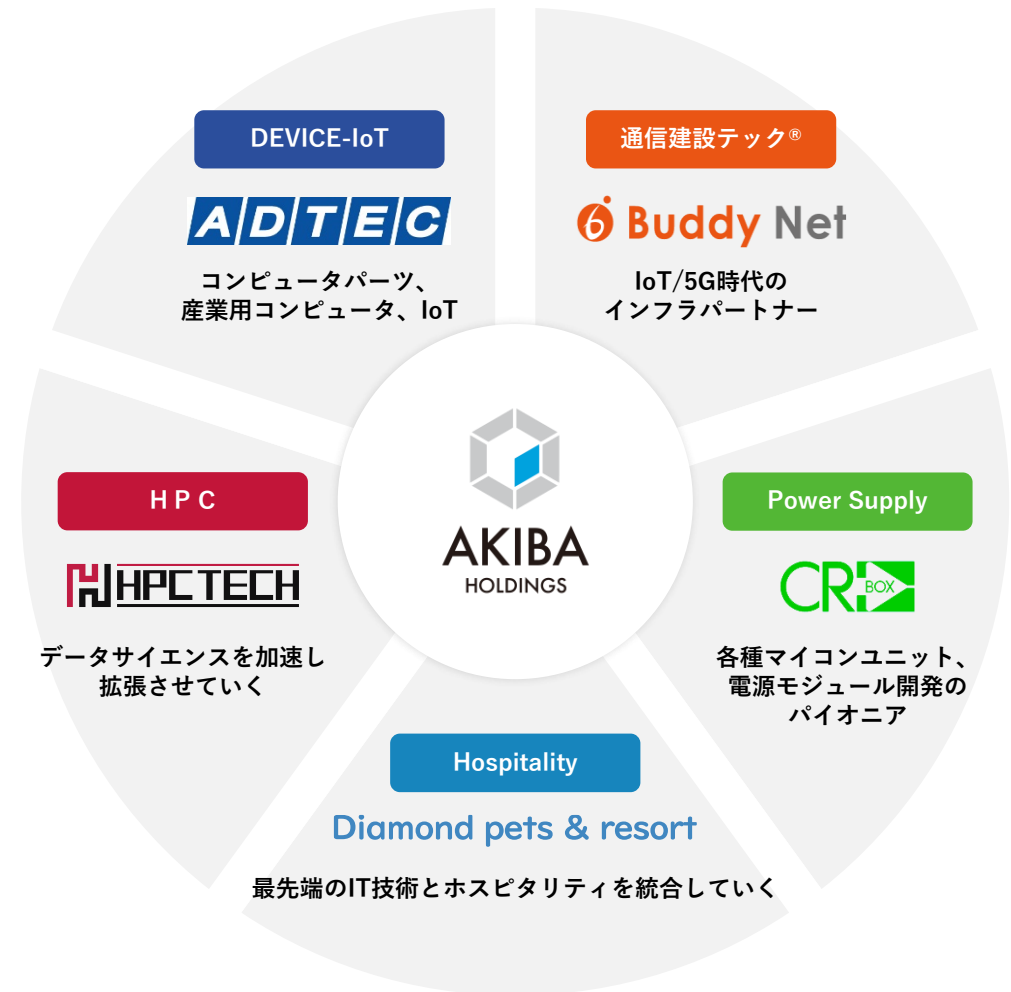
1980年代	1983.2	株式会社アドテックを設立(商号変更により現「株式会社AKIBAホールディングス」)
1990年代	1993.6	パソコン用増設メモリモジュールの製造販売を開始
	1998.11	日本証券業協会に株式を店頭登録
2000年代	2004.12	ジャスダック証券取引所（東京証券取引所JASDAQ（スタンダード））に株式を上場
2010年代	2013.5	株式会社エッジクルー（現 連結子会社）を設立
	2015.1	株式会社バディネット（現 連結子会社）を買収
	2015.10	株式会社AKIBAホールディングスに商号変更、新設分割により株式会社アドテック（現 連結子会社）を設立、 純粋持株会社体制に移行
	2016.3	iconic storage株式会社を買収
	2017.1	株式会社HPCテック（現 連結子会社）を買収
	2019.7	ウェブソリューション事業を株式会社バディネットに移管、通信コンサルティング事業に統合
2020年代	2020.5	株式会社ダイヤモンドペット&リゾート（旧 株式会社AKIBA LABO福岡）にて新規事業 （ペット同伴温泉旅館「鬼怒川 絆」の運営）開始
	2020.10	ペット同伴温泉旅館「鬼怒川 絆」 グランドオープン
	2020.10	株式会社バディネットが株式会社トランセンエンジニアリングを買収
	2021.4	株式会社バディネットがiconic storage株式会社と株式会社トランセンエンジニアリングを吸収合併
	2021.10	株式会社アドテックがシーアールボックス株式会社（現 連結子会社）を買収
	2022.4	東京証券取引所の市場区分の再編に伴い、東京証券取引所スタンダード市場へ移行

Business Domain

DXを次のステージへ

先進的なサービスを有するビジネスが集結

AKIBAホールディングスグループは多様なカテゴリーで社会全体のDX推進に取り組み発展させていきます。



IT技術の目覚ましい進歩が次の時代の大きな変革となっており、産業界においてもIT技術のさらなる活用と研究・開発、並びに無人化や省力化を実現する自動化技術が進んでいます。私たちアドテックが目指すのは、次の時代へと繋がるテクノロジーを応用した製品やサービスの開発です。これからもアドテックは、ハードウェア、ソフトウェア分野における各種ITソリューションの提供並びにメモリ関連製品、メモリ関連ソリューションの技術の向上を図ります。そしてIT時代の重要な架け橋になる企業となることを目指し、社会の発展に貢献してまいります。

■ 名称

株式会社アドテック

■ 設立

2015年10月

■ 資本金

100,000,000円

■ 本社

東京都中央区築地2-1-17
陽光築地ビル

■ URL

<https://www.adtec.co.jp/>

事業内容

■ プロダクトセールス事業部

■ メモリモジュール、フラッシュメモリ

DDR5メモリ、NVME SSD等の最先端メモリから、組込・産業用で長期需要があるDDR1メモリ、SDRAMメモリ、CFカード等のレガシーメモリまで、幅広い高品質な製品ラインナップと製品サポートを継続展開しております。

■ エッジコンピューティング・産業用パソコン

組込・産業用マザーボードやPC、シングルボードコンピュータのラインナップをご用意、産業用メモリ製品で培った開発・製造・品質管理のノウハウで産業用メモリと共に、高耐久、高品質な組込・産業用PCソリューションを展開しております。

■ 最先端技術を活用したガジェット

最新規格の最大出力140Wに対応したPD3.1充電器や240W対応Type-Cケーブルをいち早く日本で販売を開始いたしました。PD充電器は企業や文教向けにも多く出荷されております。先端技術からコモディティー製品など、多く計画しております。

■ IoTソリューション事業部

■ 自社製品

オリジナルの通信端末を使って、バッテリーの寿命を常時モニタリングする鉛蓄電池センシングIoT機器から1次産業向けの遠隔水質監視システムまで幅広い業界のお困りごとを解決いたします。

■ 受託開発

ハードウェア設計・ソフトウェア設計・筐体設計から、各種電子機器・セミカスタムボードの試作及び量産まで、お客様のあらゆるニーズに合わせて対応いたします。

■ CPUモジュールの販売

ARM系CPUモジュールメーカーであるToradex®の正規代理店として、製品の販売からサポートまでを一手に行います。60種類以上のCPUモジュールを取り揃え、画像処理、AI処理、超低消費電力等、用途に合わせた製品選定及び開発が可能です。



拠点

▶ 大阪営業所

大阪府大阪市中央区道修町1-5-18
朝日生命道修町ビル6階

▶ R&Dセンター

東京都町田市小山ヶ丘2-2-5-8
まちだテクノパーク センタービル7、8階

取得認証

▶ ISO9001：2015（品質マネジメントシステム）

登録証番号：GIJP-0175-QC
初回認証登録日：1999年12月1日

▶ ISO14001：2015（環境マネジメントシステム）

登録証番号：GIJP-0175-EC
初回認証登録日：2002年8月19日

認証範囲：メモリ製品（メモリモジュール及びフラッシュメモリ応用製品）の製造管理及び販売
IoT機器の設計・開発・販売

私たちシーアールボックスは「回路設計における真の目的とは」を常に意識しその潜在化した問題を顕在化し、回路設計のアイデアで高次元にクリアすべく日々研鑽を重ねております。培ったアナログ技術にデジタル技術や既存概念にとられない最新技術を融合し、主力である電源のみならず様々な分野の課題を解決へと導くことが我々の使命と肝に銘じ、最高のパフォーマンスを発揮いたします。

■ 名称

シーアールボックス
株式会社

■ 設立

2000年2月

■ 資本金

17,000,000円

■ 本社

東京都八王子市
大塚631-1

■ URL

<https://www.crbox.co.jp/>

事業内容

■ 各種マイコンユニット、電源モジュール等、電子回路開発・設計・製造

AC/DC、DC/DC、マルチ電源などの各種電源及びアイソレーションアンプ等のカスタム設計を得意としています。特に産業機器への採用実績が多数あり、高信頼性、長寿命、また長期安定供給への対応を得意としています。

■ 自社開発製品

コンバータ

- ▶ AC/DCコンバータ（マイコン搭載、バッテリー充電制御・残量計測機能、多出力同期SW、PFC+LLC[力率改善・ソフトスイッチング] etc.）
- ▶ DC/DCコンバータ（モールド式オンボード・マルチ出力・低ノイズ・高電圧入力・超低温起動・ケミコンレス（超長寿命）・医療用高耐圧・車両搭載用[高信頼性] etc.）

DCモータ駆動回路

- ▶ マイコン搭載、半導体SW式、リレー式etc.

インバータ

- ▶ コンプレッサ駆動用・マイコン搭載

アイソレーションアンプ

- ▶ 2ポート式、3ポート式、高耐圧、超高精度トランス方式etc.

各種センサ回路、制御回路

- ▶ 各種センサ回路（マイコン搭載高精度露点計、温度計、湿度計、降雪センサ、ガスセンサetc.）
- ▶ 各種制御回路（電力制御回路[マイコン搭載・低ノイズトライアック制御・電流変化検知型安全装置]、各種冷暖房機用制御回路、ヒータ温度制御、ヒートポンプ制御回路、蓄熱暖房器、電気ポイラ、床下暖房、リモコンetc.）



LED関連

- ▶ AC駆動、DC駆動、電球素子、1/fゆらぎ制御etc.

柱上装置

- ▶ 搬送波通信制御装置

主要取引先

▶ 代理店：エレマテック(株)、(株)レスターエレクトロニクス、(株)システック、富士エレクトクス(株)、(株)ジェムコ、日研機器(株)、梅澤無線電機(株)

▶ 主要顧客：(株)安川電機、(株)日立製作所、(株)東光高岳、三菱電機(株) ※敬称略、順不同

■ 海外パートナーシップ企業（Universal Microelectronics社）

1984年に設立された台湾・台中市に本社がある台湾上場企業です。特に電源関連や高品質なACアダプターに強くセミカスタマイズを得意としておりますので、ご要望にお応えした仕様で量産納入します。

■ 会社概要

▶ 工場

台中本社工場、中国・深圳工場、ベトナム・ハノイ工場
※最新設備による最良の生産管理システムを導入し、日本企業からも高評価

▶ 取扱製品

電磁製品、電源製品、各種センサ、EMS



■ CRBOXの役割

- ▶ 輸入業務（輸入事業者登録取得）、貨物の纏め輸入による輸送費コスト削減
- ▶ 不具合発生時の一次解析対応
- ▶ 設計支援（設計を行い生産をUMECで行うことも可能）
- ▶ お客様のご要望を最大限に受け入れた最適提案を実施



拠点

宮城県宮城郡利府町花園2-6-1

特許

特開2010-054383	ガスセンサ装置	2010年03月11日	特許4326582
特開2009-270891	ガスセンサ装置	2009年11月19日	特許4353999
特開2008-301565	トライアック制御装置	2008年12月11日	特許4534063
特開2005-102050	遠隔操作システム	2005年04月14日	特許4208685
特開2001-037276	直流モータ駆動回路	2001年02月09日	

IoTの時代は、エアコンや冷蔵庫、椅子や電球など、目に見える全てのモノが通信に繋がる世界。それは、革新的な世界であるからこその旧態依然のままでは対応できず、新しい考え方や手法が求められています。我々は、これまでビジネス・インテグレーターとして培ったノウハウと技術力にAKIBAホールディングスグループが誇るITの総合力を掛け合わせ、この課題を解決します。そして、より一層便利な社会を創り守っていくために、益々の企業規模拡大を目指していきます。



■ 名称	株式会社バディネット
■ 設立	2012年2月
■ 資本金	100,000,000円
■ 本社	東京都中央区新富1-18-1 住友不動産京橋ビル3階
■ URL	https://www.buddynet.jp/

事業内容

エンジニアリング事業

確かな技術力を持った全国の施工保守体制とIT を駆使した通信建設テックを武器に、すべてのものが繋がるIoT 社会のインフラ構築をサポートします。

Mobile Engineering
モバイルエンジニアリング
移動体通信局構築工事

Access Engineering
アクセスエンジニアリング
FTTH、WAN/LAN構築、Wi-Fi構築、クラウドカメラ

コンタクトセンター事業

Contact Center Service
コンタクトセンターサービス
24時間365日対応、BCP 対応可能なコンタクトセンターと豊富なソリューションでお客様のビジネスを強力にサポートします。
カスタマーサポート、テクニカルサポート、アウトバウンド、事務局運営、CRM・CTIソリューション、コンサルティング

通信コンサルティング事業

Mobile Consulting
モバイルコンサルティング
経験豊富なセールスチームがお客様の通信環境に合わせたソリューション提案を実施し最適な通信環境をご提供します。
スマートフォンなどの通信商材、RPA、コミュニケーションロボット、セキュリティ関連商材、その他各種IoTデバイス

人材派遣・人材紹介事業

Buddy Staffing
バディスタッフィング
ヒューマンリソースの提供を介して様々なお客様の企業活動を柔軟に支援します。
施工管理、オフィスワーク、コールセンター、セールスプロモーション、他

ICT/IoTNetwork Engineering
ICT/IoTネットワークエンジニアリング
ローカル5G、IoT環境構築、ギガスクール

Field Support
フィールドサポート
全国駆け付け保守サポート
ドローン点検等

BPO事業

BPO Service
BPOサービス
要件定義、業務設計から効果分析、改善案実行による業務効率化まで、お客様の課題解決をワンストップで支援します。
コンサルティング、マーケティング、スキーム構築、施工・設置、保守・メンテナンス、コンタクトセンター、営業支援、システム開発

システム開発・受託事業

System Engineering
システムエンジニアリング
ソフトウェアの設計開発、ネットワーク構築、システム構築などを介して、お客様の課題解決、並びに各種オペレーションのDX化を支援します。
各種ソフトウェア開発（受託・SES）、ネットワーク構築、IoT研究開発 他

拠点

▶ 営業所

【新宿営業所】 新宿区新宿6-5-1 新宿アイランドタワー6階
【大阪営業所】 大阪府大阪市中央区道修町1-5-18
朝日生命道修町ビル6階
【福岡営業所】 福岡市博多区博多駅中央街5-11第13泰平ビル3階

▶ コンタクトセンター

【東京CS】 中央区築地
【和歌山CS】 和歌山市本町
【福岡CS】 福岡市博多区博多駅中央街

取得認可・商標・特許

▶ 労働者派遣事業

許可番号：派13-306504
許可年月日：2016年6月1日

▶ 職業紹介事業

許可番号：13-ユ-308341
許可年月日：2016年12月21日

▶ 建設業許可

許可番号：電気工事業
(特2) 第140501号、
電気通信工事業(般30)
第140501号
許可年月日：2013年8月30日

▶ 商標

「通建テック」 出願番号 2020 100938
「通信建設テック」 出願番号 2020 100937

▶ 特許

ポリマテリアル充填工法

取り組み

安全品質管理の体制

バディネットは、作業所の安全確保と安全な職場環境を形成することで、労働災害発生を未然に防ぎ安全かつ安心な品質を確保します。

- ▶ 安全パトロールの実施
- ▶ 安全衛生協議会の実施
- ▶ 施工安全計画書の策定
- ▶ 事故事例検討会の実施
- ▶ 情報セキュリティー事務局の設置

個人情報保護

バディネットは、社会の通信インフラに関わる業務並びに人材サービス(労働者派遣等)に関わる業務に携わっております。これら業務を行うに当たり、個人情報保護という社会的責任を認識しプライバシーの保護、個人情報に関する法規制等を遵守し、事業活動を行うためにプライバシーマークを取得し、業務を実行しています。



21世紀に入り日本を取り巻く国際情勢は目まぐるしく、大きな変動の中で産業界や大学・研究機関の役割・今後の進むべき道も大きく変わろうとしています。企業間の国際競争もそして同じ業界内での連携や競争または異業種との交流もその激しさとスピードを一層増してきています。その中において新たな技術やサービスの開発の基となる科学技術コンピュータ（HPC）やIT技術は国家や企業によりよい未来を創造する事でしょう。我々はこの激動する社会・経済の変化の中で、世界的に繋がったインターネットのように人と人との繋がりを大事にして、新しい世代を担う大学・研究機関・企業の方々の発展と地球環境の保全に貢献したいと心から願う次第です。

■ 名称

株式会社HPCテック

■ 設立

2008年10月

■ 資本金

80,000,000円

■ 本社

東京都中央区日本橋
富沢町7-13 洋和ビル4階

■ URL

<https://www.hpctech.co.jp/>

事業内容

高性能計算機の開発・製造及び販売事業

高性能科学技術計算機を必要とする大学、研究機関、企業の研究開発部門向けに、科学技術計算分野向けコンピューターの製造、販売を行っております。天気予報、地震予測、自動運転、電子機器や新素材の開発などに用いられ、ビッグデータ解析やAI（人工知能）、ディープラーニング（深層学習）といった分野にも活用されています。

Hardware

ハードウェア

ワークステーション	サーバメモリ
GPUワークステーション	インフィニバンド
ラックマウントサーバ	フラッシュストレージ
GPUラックマウントサーバ	無停電電源装置
大容量ストレージサーバ	サーバラック・静音ラック
オールフラッシュストレージサーバ	

Software

ソフトウェア

クラスタ管理ツール	物理・電子
ジョブスケジューラ	電磁界
コンパイラ	可視化
構造・流体	数値解析
マルチフィジクスクラウド支援	
化学・量子化学	ツール

Set Up Service

セットアップサービス

OSセットアップ	ネットワーク設定
GPUアクセラレータセットアップ	MPI並列計算環境セットアップ
Deep Learningセットアップ	ジョブ管理ソフトセットアップ
Singularityセットアップ	クラスタ設定
Deep Learning用サンプルプログラム	RAID設定
復旧用リカバリUSB作成サービス	設置サービス
コンパイラセットアップ	訪問相談サービス
各種アプリケーションのインストール代行作業	

取得認証

▶ ISO9001 : 2015 (品質マネジメントシステム)

登録番号：GIJP-0193-QC 初回認証登録日：2018年10月1日

▶ ISO14001 : 2015 (環境マネジメントシステム)

登録番号：GIJP-0193-EC 初回認証登録日：2018年10月1日

認証範囲：HPC 製品（科学技術計算器）の組立て、販売及びサポート

主要取引先

東京大学	東京工業大学	トヨタ自動車(株)	ソニー(株)	産業技術総合研究所
京都大学	広島大学	(株)デンソー	オリンパス(株)	理化学研究所
東北大学	横浜国立大学	日本製鉄(株)	住友電気工業(株)	海洋開発研究機構
大阪大学	早稲田大学	鹿島建設(株)	日本電信電話(株)	宇宙航空研究開発機構
九州大学	慶應義塾大学	(株)東芝	楽天グループ(株)	国立遺伝学研究所 等
北海道大学	明治薬科大学	三菱電機(株)		
名古屋大学	慈恵医科大学	凸版印刷(株)		
筑波大学				

※敬称略、順不同

取り組み

品質環境方針

ISO認証を受けた国内の自社オフィスに製造専用ラインを持ち日々、熟練されたエンジニアが品質向上に取り組み、全ての計算機を一つ一つ手作業で生産しております。部品選定、検品、製造、エージングテスト、全ての項目を厳しくチェックし、高品質の製品をお届けします。



環境への取り組み

企業活動と地球環境との調和・安全の推進を行い、環境負荷の低減及び環境マネジメント継続的改善に取り組み、環境に優しい事業活動の継続的な推進を行います。開発、購入、製造、販売プロセスなど事業のあらゆる面で効率化を推進し、環境に優しい活動を推進します。製品やサービスの品質向上を図り、省資源化や廃棄物対策の推進に努めます。環境に配慮した製品やサービスの開発に努め、お客様へご提供します。グリーン購入の推進及び、製品のコストダウンをはかり、より一層の社会貢献を目指します。

- ▶ 環境関連法規制等の順守
- ▶ 環境保全活動の継続的な推進

次世代のサービス産業の在り方をIT技術で 創造する企業を目指します。

代表取締役社長 下津 弘享

私たちダイヤモンドペット&リゾートは過去の事業再生ノウハウと新たに旅館事業におけるノウハウを持つことで、更なるサービス事業領域の強化を図ってまいります。またAKIBAホールディングスグループの株式会社アドテック、株式会社パディネットの事業であるIoT分野及び通信分野（5GやIoT通信）において、この「鬼怒川 絆」を様々な研究場所として、館内のお客様への利便性・快適性の追求やそこに働く従業員のための業務効率化や労働環境改善に向けた技術開発の追求を行ってまいります。また地元密着で、IT関連の実証実験や製品販売の推進、IT技術を活用したイベント等の催し物等へのサポートなど多角的視点で、事業展開を図ってまいります。

■名称

株式会社
ダイヤモンドペット &
リゾート

■設立

2015年11月

■資本金

27,000,000円

■本社

東京都中央区築地2-1-17
陽光築地ビル

■URL

<https://www.diamondpets.co.jp/>

事業内容

旅館事業

栃木県の鬼怒川温泉において、ペットと泊まれる温泉旅館、「鬼怒川 絆」の運営事業をスタートさせました。鬼怒川の自然に包まれながらペットと過ごす最高のひと時を私達絆スタッフが最大限にサポートいたします。鬼怒川絆は、自慢の庭園を始め、会席料理、天然温泉、大切なペットと快適に過ごすことの出来る館内施設を運営し、また周辺の様々な施設との連携も進めております。

ペット商品事業

ペットとの暮らしにおけるニーズが複雑化、多様化している中、飼い主様とペットの利便性、快適さ、健康の向上をテーマに、ペットフードや飼育用品から保険まで、あらゆる種類のペット商品に関して、市場ニーズの把握から商品の企画、製造、輸入、販売までを行う総合ペット商品事業の構築を目指してまいります。

IT事業

AKIBAホールディングスグループのノウハウを活かし、人口が減少する中で競争が激化する旅館、飲食店、小売店等BtoCビジネスのIT化、IoT化を推進する機器及びソリューション開発を行い、ビジネスの効率化、差別化推進に貢献してまいります。またペットとの暮らしのQOL向上に貢献するものとして、昨今海外を中心に開発が進む、ペットの福祉、健康等に関するIoT機器の開発、製造、輸入、販売事業も推進してまいります。

取得認証

▶温泉利用（浴用）許可

許可番号：栃木県指令西保第3621-7号/8号/9号/10号/11号/12号/13号/14号/15号/16号/17号/18号
許可年月日：2020年8月27日

▶飲食業許可

許可番号：栃木県指令西保第10006242号
許可年月日：2020年8月25日

▶旅館業許可

許可番号：栃木県指令西保第010500015号
許可年月日：2020年8月28日

イベント事業

2020年10月1日に栃木県の鬼怒川温泉において、ペットと泊まれる温泉旅館、「鬼怒川 絆」の運営事業をスタートさせましたが、旅館運営にとどまらず、地元の活性化に貢献することで、当旅館にお越しのお客様がさらに様々な過ごし方を演出できるようにしてまいります。その為に館内における催し物だけに留まらず地域との連携による様々な催し物の開催に向けた企画等を積極的に推進し、イベントの企画・運営を事業の一つとしております。

不動産事業

ダイヤモンドペット&リゾートの行う旅館業は、サービス産業であると同時に、装置産業であり、立地、不動産の性質が非常に重要な要素となることから不動産事業の性質を有しております。そのため、ダイヤモンドペット&リゾートは、開業にあたり、将来の事業拡大を支えるため、不動産事業を重要な事業領域として行うことといたしました。不動産事業においては、デューデリジェンス、投資、再生、プロパティマネジメント、アセットマネジメント等総合不動産事業の構築をしてまいります。

施設概要

名称：鬼怒川 絆
住所：栃木県日光市鬼怒川温泉大原1422-8
電話：0288-25-7733（鬼怒川絆予約係）
メール：info@diamondpets.co.jp
ホームページ：<https://kizuna-kinugawa.com/>
仲居ブログ：<https://ameblo.jp/kizuna-kinugawa/>

